Panasonic

写真は本体色がシルバー
のものです。



ポータブル DVD/ビデオ CD/CD プレーヤー

取扱説明書

品番 **DVD-LV75**





このたびは、ポータブル DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

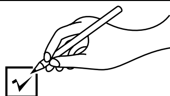
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　そのあと保存し、必要なときにお読みください。

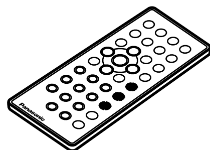
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
　販売店からお受け取りください。

保証書別添付　**上手に使って上手に節電**

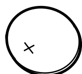
VQT8639

付属品のご確認

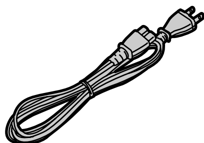




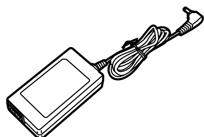
□ **リモコン**
(VEQ2412：
本体色 シルバー)
(VEQ2413：本体色 白)



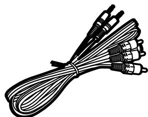
□ **リモコン用ボタン電池**
(CR2025)



□ **電源コード**
(VJA0536)



□ **AC アダプター**
(VSK0577)



□ **音声／映像コード**
(RJL3X001X15)

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。(　　) 内は買い替え時の品番を表します。

お願い

付属の電源コード／AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

本書では、次の記号を使用しています。

DVD …DVD で楽しめる機能
VCD …ビデオ CD で楽しめる機能
CD …音楽 CD で楽しめる機能

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■**表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ **警告**	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
⚠ **注意**	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

■**お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

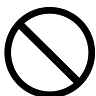
分解、改造はしない



分解禁止

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店にご相談ください。

付属の AC アダプター以外は使わない

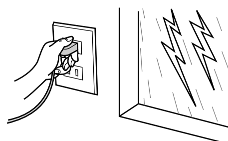


- 自動車のシガレットライターソケットに接続したり、他の AC アダプターを使うと、火災の原因になります。

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

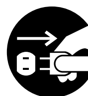


接触禁止



- 感電の恐れがあります。

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

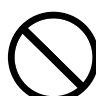
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない



- 交通事故の原因になります。

レーザー光を見つめない

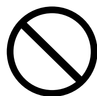




- 視力障害の原因になります。

 警告

水をかけたり、濡らしたりしない



- 本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

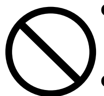
電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

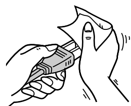
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

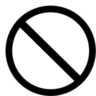
電源プラグのほこり等は定期的にとる

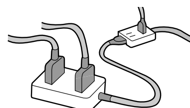




- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない





- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

ボタン電池は正しく取り扱う



- **乳幼児の手の届く所に置かない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

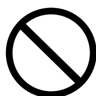
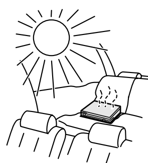
- 誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。また、液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐに医師にご相談ください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

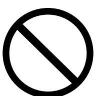
⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

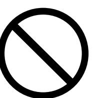
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ひざの上などで長時間使用しない



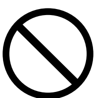
- 機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



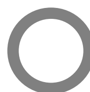
- 耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない



- 本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ディスクについて



再生できるディスク

- DVD





- ビデオ CD
- 音楽 CD※





※ DTS で記録された CD(DTS CD)も再生できます。(「DTS」 0 48 ページ)

- DVD には発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。

本機は**「2」**(または「2」を含むもの)と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。
ディスクのジャケットもご参照ください。
例)







など



再生できないディスク

- リージョン番号**「2」「ALL」以外**の DVD
- PAL 方式の DVD ／ビデオ CD

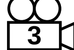
● **CD-R**	● **フォト CD**	● CVD
● DVD-ROM	● CD-ROM	● CD-G
● DVD-RAM	● DVD-R	● CDV
● DVD+RW	● DVD-RW	● CD-RW
● DVD-AUDIO	● SACD	● SVCD
● VSD		

など

CD-R、フォト CD を再生するとディスクの内容が壊れる恐れがあります。

リモコンの準備

■**ジャケット上のマークについて**
下記は一例です。

- 音声数　
- 字幕数　
- アングル数　

（数字は記録されている音声／字幕／アングルの数を示す。）

- 画面サイズ（横：縦の比）


：4：3の標準サイズ


：レターボックス（4：3で上下に黒帯が入った画面）


：16：9のワイドサイズ標準サイズのテレビでは、レターボックスで再生される。

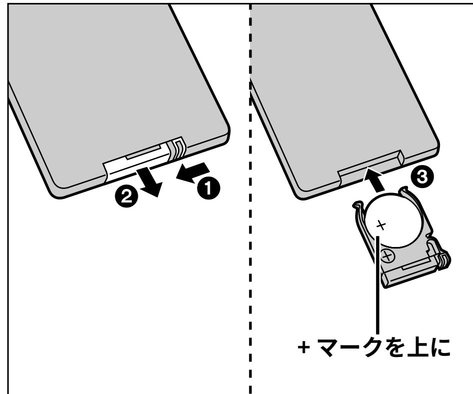

：16：9のワイドサイズ標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン（両側または片側の切れた画面）で再生される。

- 液晶画面に映し出される映像サイズは、表示モードによっても異なります。
（0 17 ページ）

ディスク側の制約について

DVD、ビデオCDには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

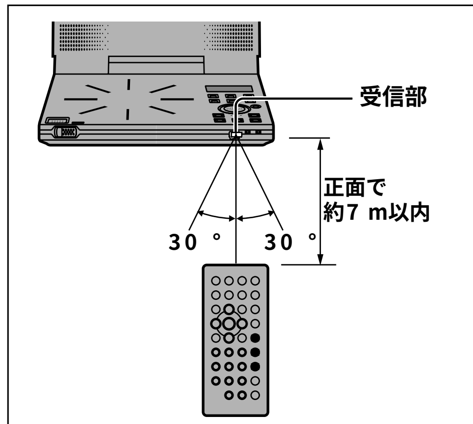
ボタン電池（付属）を入れる



■**電池の交換時期**（1年が目安です。）

- 下記の使用範囲内でリモコンを操作しても動かないときは、電池を交換してください。
品番：CR2025（リチウム電池）
- 廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。（または、地方自治体の条例に従ってください。）

使用範囲



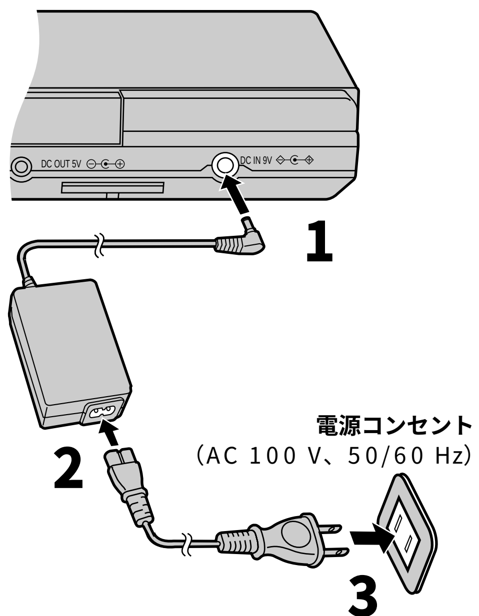
お願い

- 受信部に強い光を当てない。
- リモコンと受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

電源の準備

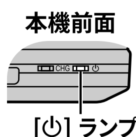
ACアダプター（付属）で使う

以下の手順で取りつけてください。



[⏻] **ランプ**が点灯します。

本機前面



海外旅行のお供にも

付属のACアダプターはAC100～240 Vの電源に使用できます。

- 旅行先のコンセントに合わせた変換プラグをご用意ください。

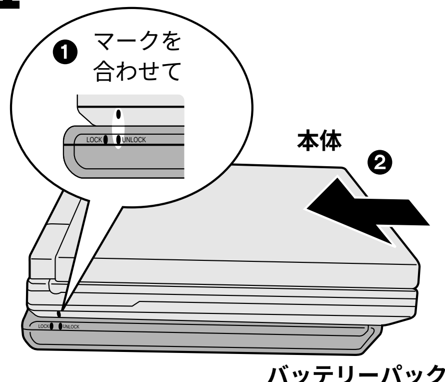
■長期間使用しないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

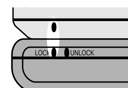
バッテリーパック（別売）で使う

- ご使用前に、バッテリーパックの説明書をよくお読みください。
- 初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。
- 充電できるのは電源が切れているときだけです。（「電源を切るには」 0 9 ページ）

1 取りつける。



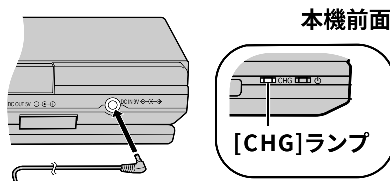
カチッと音がしたら取りつけ完了です。確実に取りつけられていることを確認してください。



2 充電する

バッテリーパックを取りつけた状態で、ACアダプターを接続してください。（0 左記）

本機前面



[CHG]ランプが点灯します。

[CHG]ランプが消えると充電終了
ACアダプターと電源コードを取り外してください。

電源を入れる

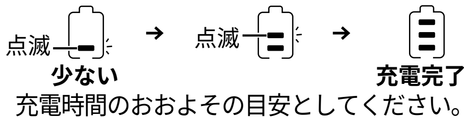
品番： DY- DB75

■充電時間と再生可能時間

充電時間	再生時間	
	液晶画面「入」	液晶画面「切」
約 4 時間 30 分（温度 20 ℃）	約 4 時間※	約 7 時間

※ 画面の明るさがレベル 0 のとき（0 17 ページ）

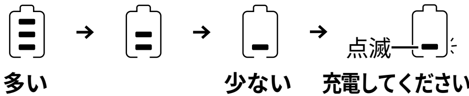
- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 充電中は表示窓（0 56 ページ）に充電量が表示されます。



充電時間のおおよその目安としてください。

■バッテリーの残量を確認するには

表示窓を見てください。



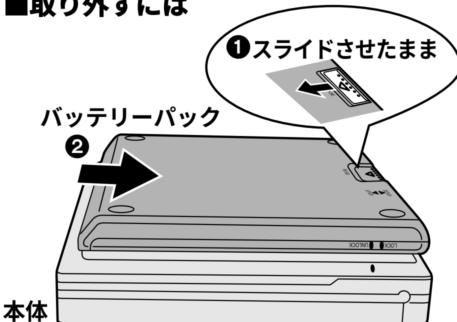
■充電しても再生時間が極端に短いときは

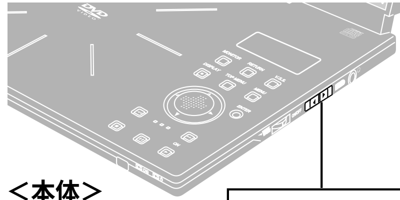
バッテリーパックの寿命です。
（充電回数約 300 回が目安です。）

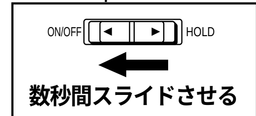
■長期間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。
（そのままにしておくと、電源「切」状態でも微少電流が流れていますので、過放電になり故障するおそれがあります。）
- 再使用時は充電してからお使いください。

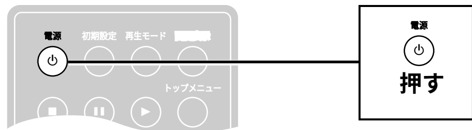
■取り外すには



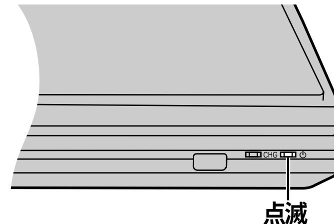




<リモコン>



液晶画面を閉じているか、表示モードを「4（オフ）」にしているとき（0 17 ページ）は、[⏻] **ランプ**がゆっくり点滅し、「入」状態であることをお知らせします。



■電源を切るには

上記の操作を再び行ってください。
AC アダプター使用時は**[⏻]ランプ**が点灯します。（電源が入っていなくても、約 1.3 W の電力を消費していることを表します。）

お知らせ

- バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることができません。
- 停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると節電のため自動的に電源が切れます。（**オートパワーオフ**）

ディスクを再生する

電源の準備はしましたか？
(0 8、9 ページ)

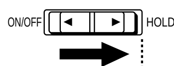
表示窓
[ON/OFF、HOLD]
[MENU]
[ENTER]
[|◀◀、▶▶|]
[■]
カーソルつまみ
[TOP MENU]
[RETURN]

カチッ
再生したい側のラベルを上に

3

[トップメニュー]
[メニュー]
[⏻、電源]
[リターン]
[■]
カーソルボタン／[決定]
[|◀◀、▶▶|]
数字ボタン

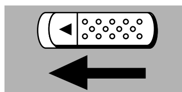
■誤動作を防ぐには



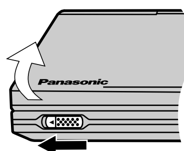
[ON/OFF、HOLD]を **HOLD** 方向へスライドさせる
ホールド状態になり、誤ってボタンを押しても操作を受け付けなくなります。この状態でボタンを押すと表示窓に"　'　"と表示され**[⏻]**ランプが点滅します。

解除するには　：**[ON/OFF、HOLD]**を **ON/OFF** 方向へスライドさせる

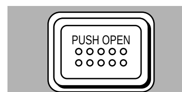
1



ロックを解除し、液晶画面を起こす



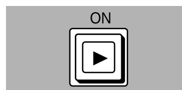
2



内ぶたを開け、ディスクを入れる

入れ終わったら内ぶたを閉める

3

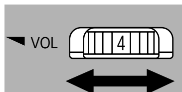


再生を始める　メニュー画面を表示したら（0 下記）

- 電源が入っていないときは[▶、ON]を押し続けると電源が入り、再生が始まります。



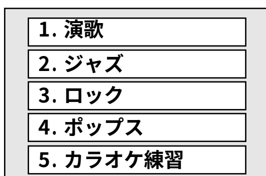
4



音量を調節する

<メニュー画面を表示したら>

例）



数字ボタンを押して項目を選ぶ

または

< DVD の場合>

カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して項目を選び **［ENTER］（決定）**を押す

■数字ボタンで 10 以上を選ぶには

例）10 ： ［≧10］ → ［1］ → ［0］

例）25 ： ［≧10］ → ［2］ → ［5］

■その他のメニュー操作

ディスクにより異なりますのでディスクのジャケットもご参照ください。

[▶▶|]　：次のメニューを出す

[|◀◀]　：一つ前のメニューに戻る

[TOP MENU]（トップメニュー）
：最初のメニューに戻る

[MENU]（メニュー）：メニュー画面を出す

[RETURN]（リターン）：メニュー画面を出す

■"$"が表示されたときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

■再生が終了したら

続けて再生しないときは節電のため電源を切っておいてください。（0 9 ページ）

お知らせ

- 長時間お使いになると本機表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは[■]を押してください。

表示窓

[|◀◀、▶▶|]

[▶]

[❚❚]

[■]

[■]

[❚❚]

[▶]

[◀◀、▶▶]

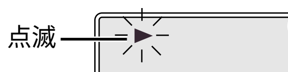
[|◀◀、▶▶|]

再生を止める

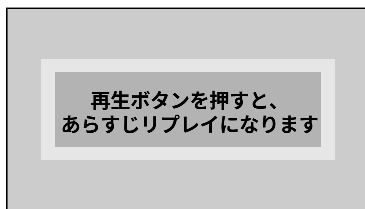
DVD　VCD　CD

再生中
[■]を押す

表示窓に"▶"が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。



"▶"点滅中[▶]**(再生)**を押すと、止めた位置から再生が始まります。
(続き再生メモリー機能)
DVD の場合は、さらに次の画面を表示します。



表示中に[▶]**(再生)**を押すと、あらすじリプレイになります。
あらすじリプレイ：
再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、止めた位置から再生が始まります。(同一タイトル内でのみ働きます。)

■続き再生メモリー機能を解除するには
[■]を押す

お知らせ

続き再生メモリー機能は
- 電源を切っても保持されます。
- 内ぶたを開けると解除されます。
- 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

静止（一時停止）する

DVD　VCD　CD

再生中

[❚❚]を押す



- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。

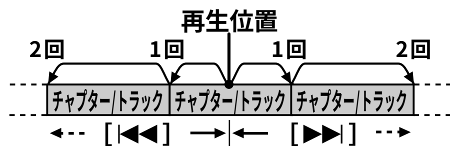
場面（チャプター）・曲（トラック）を飛びこす

DVD　VCD　CD

再生／静止（一時停止）中

[|◀◀]（戻る）、**[▶▶|]**（進む）**を押す**

押した回数だけスキップします。



早送り・早戻しする

DVD　VCD　CD

再生中

[|◀◀]（戻る）、**[▶▶|]**（進む）
を押し続ける

<リモコンの場合>

再生中

[◀◀]（戻る）、**[▶▶]**（進む）**を押す**

- 押し続けると（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5 段階）
- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- DVD ／ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。
  音声を消すこともできます。（0 32 ページ）
- DTS CD は全ての速度で音声が聞こえません。

スロー再生する

DVD　VCD

静止（一時停止）中

[|◀◀]（戻る※）、**[▶▶|]**（進む）
を押し続ける

<リモコンの場合>

静止（一時停止）中

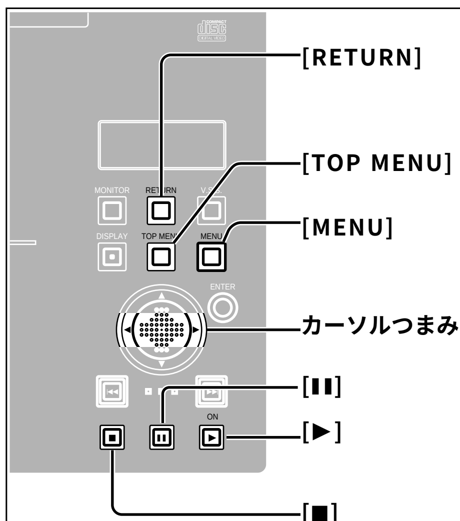
[◀◀]（戻る※）、**[▶▶]**（進む）**を押す**

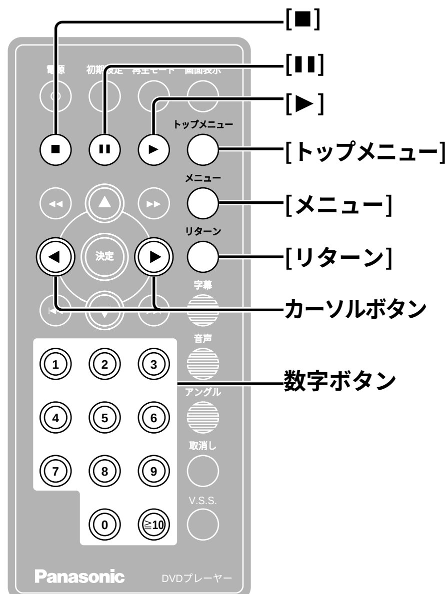
※ DVD のみ

- 押し続けると（リモコンでは押すたびに）、速くなります。（5 段階）
- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。

お知らせ

プレイバックコントロール付ビデオ CD のメニュー再生中は[|◀◀、▶▶|]や[◀◀、▶▶]が正しく働かないことがあります。（「プレイバックコントロール」 0 48 ページ）





コマ送り・コマ戻しする

DVD　VCD

静止（一時停止）中

カーソル[◀]（戻る※）、**[▶]**（進む）**を操作する**

※ DVDのみ

- 操作したままにすると連続してコマ送り／コマ戻し再生になります。
- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- **[❚❚]**を押してもコマ送りできます。

場面（タイトル）・曲（トラック）を番号指定で再生する

DVD VCD※ CD

停止中

数字ボタンを押す

選んだタイトル／トラックから再生が始まります。

- カラオケ DVD ／ビデオ CD ／ CD の場合は再生中でも働きます。
  （プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合 0 下記）
- ディスクによって働かないものがあります。

<※プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合>

メニュー再生中に操作するときは、まず **[■]**を押して、メニュー再生を解除してください。

表示窓の" （ "が消灯します。

メニュー再生に戻すには

1 **[■]**を数回押して表示窓の"▶"を消す

2 **[▶]（再生）**を押す

表示窓に" （ "が点灯します。

メニュー画面に戻す

DVD VCD

< DVD の場合>

再生中

[MENU]（メニュー）を押す

<ビデオ CD の場合>

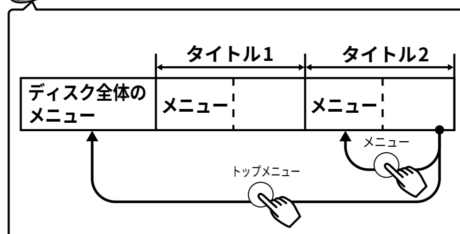
再生中

[RETURN]（リターン）を押す

<複数のメニューを持つ DVD の場合>

[TOP MENU]（トップメニュー）を押してもメニュー画面に戻すことができます。

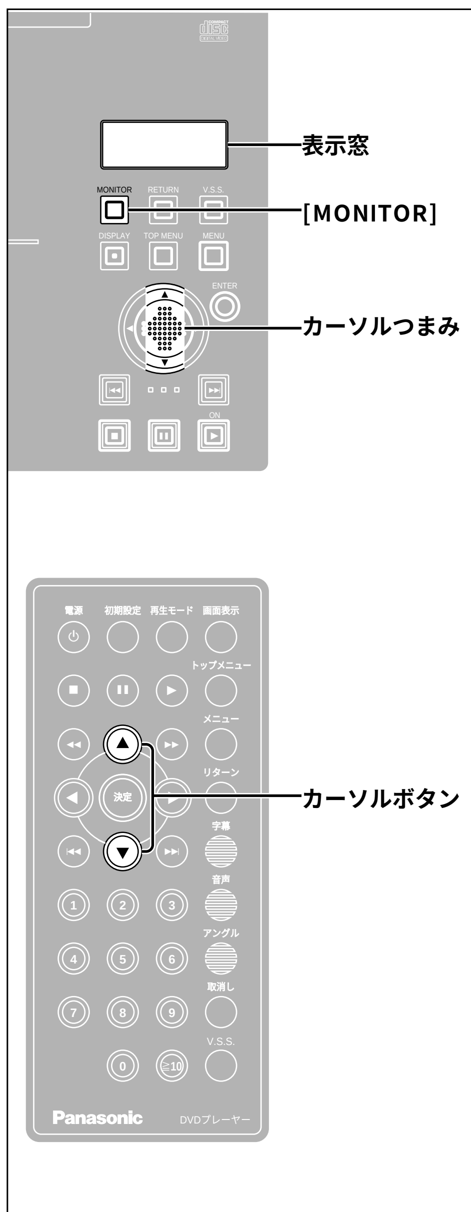
- ただし**[MENU]（メニュー）**を押したときと**[TOP MENU]（トップメニュー）**を押したときで表示されるメニューが異なる場合があります。



お知らせ

メニューの内容は、ディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。

映像を調節する

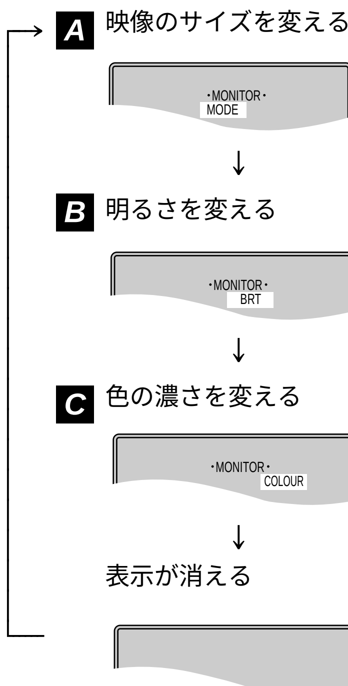


再生中／停止中

[MONITOR]を押して

液晶画面の設定モードを切り換える

押すたびに表示窓の表示が切り換わります。



それぞれの表示を点灯させて 17 ページの操作を行ってください。
（調節後は表示を消しておいてください。）

- 映像サイズは、電源を切るか、電源「入」状態で[IN/OUT]を押すと（０ 45 ページ）、自動的に"1（ノーマル）"になります。
- 外部入力モード（０ 45 ページ）のときに調節した場合を除き、電源を切っても明るさと色の濃さの設定は保持されています。

お知らせ

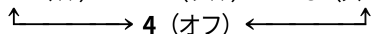
調節は、本機の液晶画面にのみ有効です。テレビなどを接続して映像をお楽しみの場合は、接続した機器側で調節してください。

A 映像のサイズ

カーソル[▲、▼]を操作して**表示モードを切り換える**

表示窓の文字が以下のように切り換わります。

1（ノーマル）⟷ **2**（フル）⟷ **3**（ズーム）


4（オフ）

■表示モードと映像のサイズ

画面に映し出される映像は表示モードとディスク側の画面サイズによって異なります。

モード / ディスク	1（ノーマル）	2（フル）	3（ズーム）	4（オフ）
ワイド ※ 16:9 PS ※ 16:9 LB	フル画面	フル画面	上下が切れる	切
4：3 ※ 4:3	左右に黒帯が出る	1の画面が左右に伸びる	2の画面の上下が切れる	切
4：3（レターボックス）※ LB	上下左右に黒帯が出る	1の画面が左右に伸びる	フル画面	切

※ディスクのジャケット上のマークです。

- 本機の液晶画面を使わないときは節電のため、"4（オフ）"にすることをお薦めします。
- 液晶画面を閉じると自動的に「切」になります。
- "3（ズーム）"のときには画面に横線が出ることがありますが、異常ではありません。

B 明るさ

カーソル[▲、▼]を操作して

明るさを調節する

：－5（暗い）～5（明るい）

明るいほど電力消費量は大きくなります。

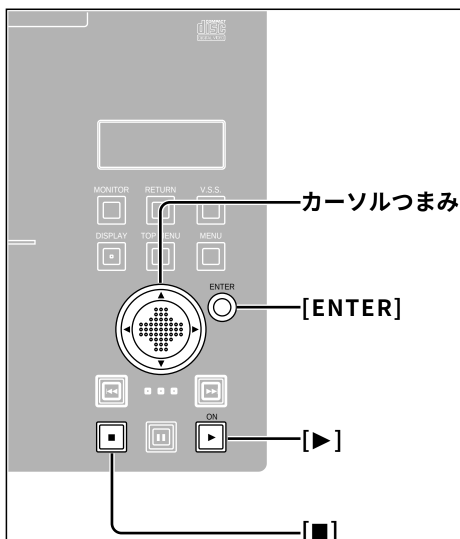
C 色の濃さ

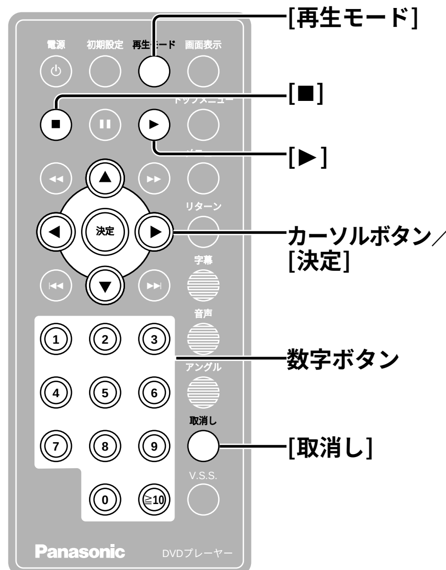
カーソル[▲、▼]を操作して

色の濃さを調節する

：－5（薄い）～5（濃い）

順番を変えて再生する





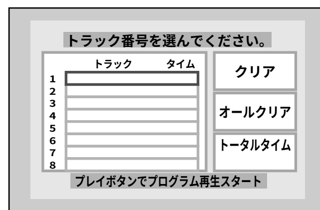
停止中**[再生モード]**を押して

プログラム再生かランダム再生を選ぶ

ボタンを押すたびに切り換わります。

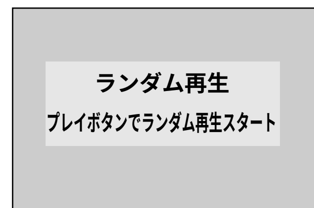
"＄"が表示されたときは **[■]** を押して表示窓の "▶" を消してから**[再生モード]**を押してください。

A 好みの順に再生する（プログラム再生）（最大 32 トラック）





B 順不同に再生する（ランダム再生）





通常再生モードに戻る

それぞれの画面を表示して 19 ページの操作を行うと、選んだモードで再生が始まります。

■再生が終了したら

停止し、それぞれの画面に戻ります。

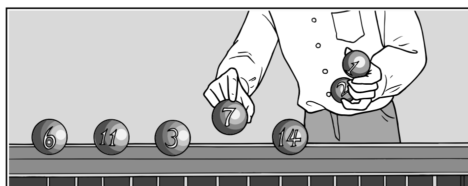
■通常再生に戻すには

1 **[■]** を数回押して表示窓の "▶" を消す

2 **[再生モード]** を押して通常再生に切り換える

3 **[▶]（再生）**を押す

A 好みの順に再生する（プログラム再生）



1 [ENTER]（決定）を押す

2 カーソル［▲、▼］を操作して トラック（曲）を選び [ENTER]（決定）を押す

必要なだけ手順 1、2 を繰り返してください。

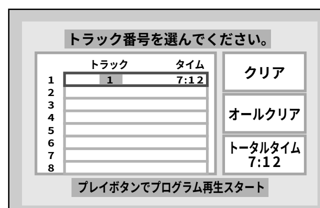
- 手順 1、2 のかわりに**数字ボタン**でトラックを選ぶこともできます。
- “**トータルタイム**”には、予約合計時間が表示されます。

3 [▶]（再生）を押す

- 予約は解除しない限り、電源を切るか、内ぶたを開けるまで保持されます。

■ 予約内容を変更するには

1 ［■］を数回押してプログラム再生画面を表示する



2 カーソル［▲、▼］を操作して変更するトラックを選び、左記の手順 1、2 を行う

予約を 1 つずつ取り消すには

1 カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して取消すトラックを選ぶ

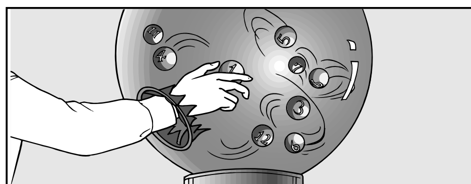
2 [取消し]を押す

- **［取消し］**を押すかわりにカーソルで“**クリア**”を選び［**ENTER**］（**決定**）を押しても操作できます。

予約を全て取り消すには

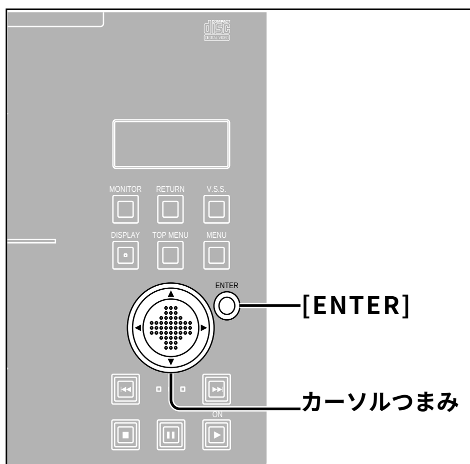
カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して“**オールクリア**”を選び［**ENTER**］（**決定**）を押す

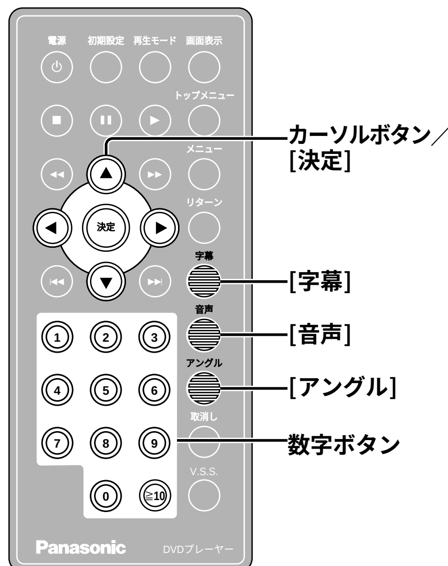
B 順不同に再生する（ランダム再生）



[▶]（再生）を押す

音声・字幕・アングルを切り換える





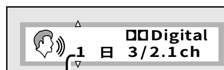
音声切換



再生中

[音声]を押す

押すたびに音声が切り換わります。



音声番号
（音声が記録されていないときは"–*"と表示）

- **カーソル[▲、▼]**や**数字ボタン**で音声番号を選ぶこともできます。
- GUI画面を使っても切り換えることができます。（0 26 ページ「音声番号」）
- 記録されていない音声番号を選んだときは、"＄"が表示され、入力できません。

■ 表示を消すには

[ENTER]（決定）を押す

しばらく放置しておいても自然に消えます。

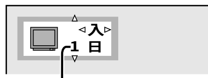
字幕切換



再生中

[字幕]を押す

押すたびに字幕言語が切り換わります。



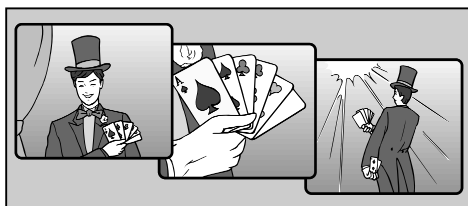
字幕番号
(字幕が記録されていないときは"--*"と表示)

- **カーソル[▲、▼]**や**数字ボタン**で字幕番号を選ぶこともできます。
- GUI画面を使っても切り換えることができます。(0 26ページ「字幕番号」／字幕「入」「切」)
- 記録されていない字幕番号を選んだときは、"$"が表示され、入力できません。

■ 字幕を「入」「切」するには

カーソル[◀、▶]を操作する

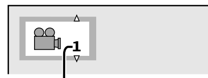
アングル切換



再生／停止中

[アングル]を押す

押すたびにアングルが切り換わります。

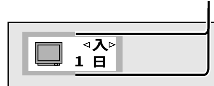


アングル番号

- **カーソル[▲、▼]**や**数字ボタン**でアングル番号を選ぶこともできます。
- GUI画面を使っても切り換えることができます。(0 26ページ「アングル番号」)

お知らせ

- 一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、△、▽ マークは表示しません。



- 変更後の言語で字幕が表示されるまでには、少し時間がかかることがあります。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。(0 29ページ)
  電源を入れたときやディスクを入れ替えたときはその設定が優先されます。
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- アングル切り換えは複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。
  あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

カラオケソフトの音声を切り換える

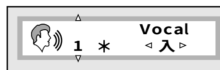
DVD　VCD

（カラオケディスク）

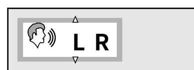
1 再生中

[音声]を押す

＜DVD＞



＜ビデオCD＞



2 **＜DVDの場合＞**

カーソル[◀、▶]を操作して

ボーカルを切り換える

以下のように切り換わります。

● ソロディスク

---※1（切）⟷入

● デュエットディスク

---※1(切)↔1＋2(入)↔V1※2(入)↔V2※2(入)

↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿↑

＜ビデオCDの場合＞

カーソル[▲、▼]を操作して

または**[音声]**を押して

ボーカルを切り換える

以下のように切り換わります。

→LR　：ボーカルあり（右よりに聞こえる）

↕

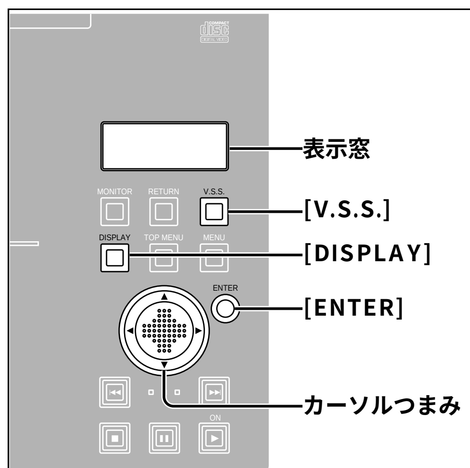
L※1　：ボーカルなし

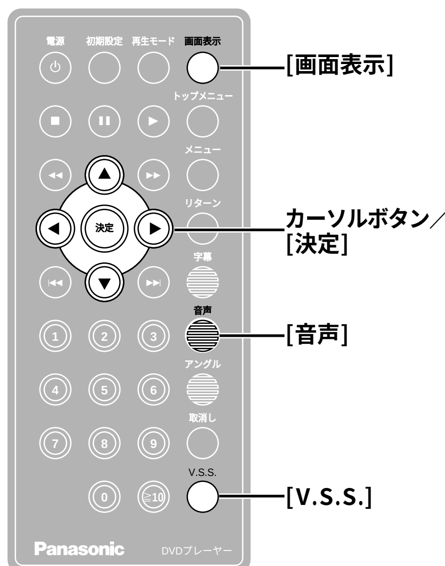
↕

→R　：ボーカルあり（左右均等に聞こえる）

※1 カラオケができます。

※2 一人でもデュエットができます。





お知らせ

本機には直接マイクを接続できません。
カラオケをお楽しみになるときはマイク入力端子付のAVアンプなどに接続してください。
（0 36 — 39 ページ）

■ 表示を消すには

[決定]（ENTER）を押す

しばらく放置しておいても自然に消えます。

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）で楽しむ

DVD

（ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）

バーチャルサラウンドサウンドとは

音に広がりを与え、ヘッドホンやフロントスピーカー（L ／ R）だけでサラウンド効果を楽しむことができる機能です。

<サラウンド信号があるディスクの場合>

音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

ヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ

ヘッドホンの接続については 44 ページをご参照ください。

再生中[**V.S.S.**]を押して

効果のレベルを切り換える

押すたびに表示窓の文字が切り換わります。

1（標準）――→**2（強）**

↑―― **OFF（解除）**←――

- GUI 画面を使っても同様の操作ができます。（0 27 ページ「V.S.S.モード／ V.S.S.レベル」）

お知らせ

- V.S.S.が働いているときは表示窓に設定状態が表示されます。

例）ヘッドホン V.S.S.の場合

V.S.S. HP ― 点滅したのち点灯

SP ： V.S.S.のとき

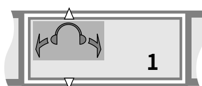
HP ：ヘッドホン V.S.S.のとき

- ディスクによってサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。

2 本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ

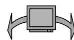
1 [**DISPLAY**]（**画面表示**）を押して
GUI 画面（**本機の情報画面** 0 **27 ページ**）
を表示する

2 カーソル[◄、►]を操作して
V.S.S.アイコンを選ぶ



3 カーソル[▲、▼]を操作して
V.S.S.モードを選ぶ

<V.S.S.>



スピーカーで楽しむとき

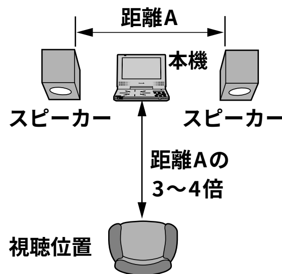
<ヘッドホン V.S.S.>



ヘッドホンで楽しむとき

- 接続した機器に合わせて正しく設定してください。
- 本機のステレオスピーカーでは十分な効果は得られません。外部スピーカーを接続してお使いください。（接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。）

<効果的な視聴位置>

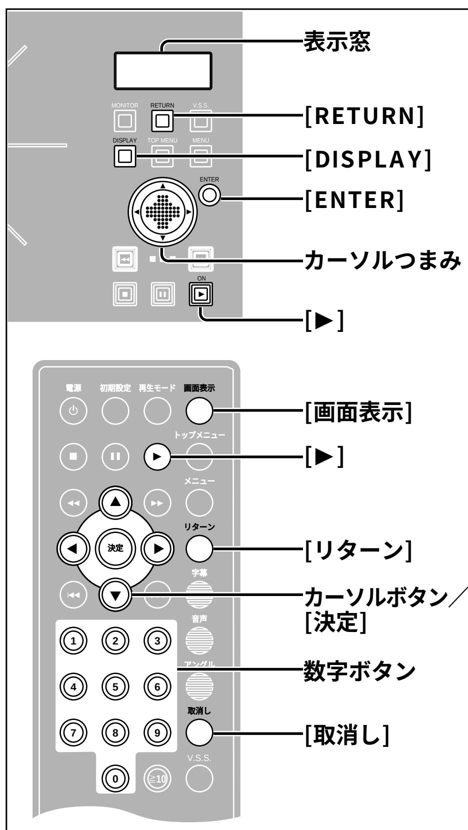


絵表示（GUI 画面）を使って操作する

GUI(Graphical User Interface)とは
「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面表示を「GUI画面」と呼びます。
情報を確認しながら内容を変更することにより、様々な操作ができます。

こんなこともできます

下記の操作は GUI 画面でのみ可能です。
- 繰り返し再生する **（リピート再生）**
- 映画ソフトでセリフの音量を上げる **（シネマボイスモード）**
- 再び見たい（聞きたい）ところを記憶する **（マーカー）**
- **V.S.S.**（バーチャルサラウンドサウンド）**モード**を変える



基本操作

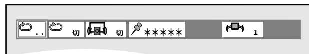
1 再生中／停止中
[DISPLAY]（画面表示）を押して
GUI 画面を表示する
押すたびに画面が切り換わります。

例） DVD の場合
ディスクの情報画面（０ 26 ページ）
タイトル／トラック／チャプターを選んだり、音声／字幕／アングルを切り換えたりできます。





本機の情報画面（０ 27 ページ）
お好みの箇所にマークを付けたり、リピート再生などができます。





シャトル画面（０ 25 ページ）
早送り／早戻しや、スロー再生ができます。







2 **カーソル[▲、▼、◀、▶]**を操作して
項目を選ぶ
選ばれた項目が黄色の枠で表示されます。

3 **カーソル[▲、▼]**を操作して
内容を変更する
- シャトル画面の場合は手順 3 は不要です。
- **数字ボタン**で変更できるものもあります。変更が実行されないときは **[ENTER]（決定）**または **[▶]（再生）**を押してください。

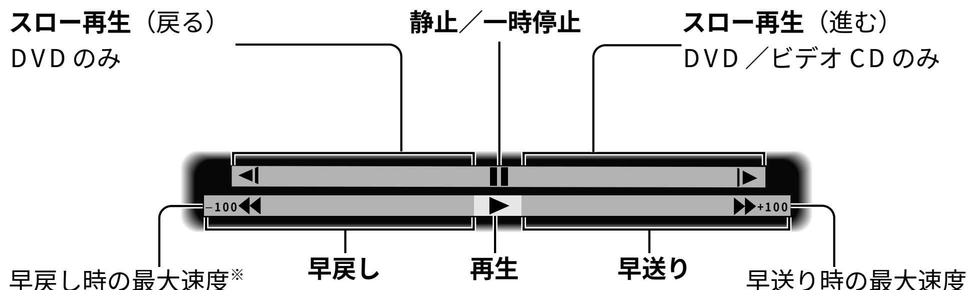
■ GUI 画面を消すには

[RETURN](リターン）または**[取消し]**を押す

お知らせ

- GUI 画面が欠けたり、表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。色を変えることもできます。（０ 31 ページ「オンスクリーン」）
- 表示される項目はディスクや再生状態によって異なります。
- ディスクや再生状態によって操作できないものがあります。
- 停止中には操作できないものもあります。
- 枠の △、▽ マークは**カーソル[▲、▼]**で変更できることを示します。

シャトル画面



※ 早送り／早戻しの速度を変えても数値は変わりません。最大速度を表示しています。

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、カーソルを操作し続けると（または操作するたびに）変化します。
- 静止／一時停止中に**[❚❚]**を押すとコマ送りできます。（DVD ／ビデオ CD のみ）

絵表示（GUI 画面）を使って操作する

ディスクの情報画面

T1	**タイトル番号**（DVD） **トラック番号**（ビデオ CD ／ CD） 番号を選ぶとそのトラック／タイトルの再生開始
C30	**チャプター番号**（DVD） 番号を選ぶとそのチャプターの再生開始
1:06:37	**経過時間**（DVD） **数字ボタン**で再生を始める時間を指定すると、そこから再生開始 例）1 時間 2 分 30 秒から再生するとき **[1]→[0]→[2]→[3]→[0]→[ENTER]（決定）**
3:37	**時間表示モード**（ビデオ CD ／ CD）内容変更はできません。 **カーソル[▲、▼]**を操作するたびに表示変更 トラックの経過時間←→トラックの残り時間←→ディスクの残り時間 ↑___________________________________↑
DD Digital 1 日 3/2.1ch a b	**音声番号**（DVD） 番号を選ぶとその音声で再生 a ：番号に割りあてられた言語（ 0 下記「音声／字幕言語」） b ：番号に割りあてられた音声属性（ 0 下記「音声属性」）
L R	**音声チャンネル**（ビデオ CD） チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ←――→ L ←――→ R （左右チャンネル） （左チャンネル） （右チャンネル） ↑___________________________________↑
入 1 英 a	**字幕番号／字幕「入」「切」**（DVD） 番号を選ぶと、その言語で再生／字幕の「入」「切」の選択 a ：番号に割りあてられた言語（ 0 下記「音声／字幕言語」）
1	**アングル番号**（DVD） 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 切	**メニュー再生の「入」「切」表示**（プレイバックコントロール付ビデオ CD） 内容変更はできません。

音声／字幕言語

日：日本語	蘭：オランダ語
英：英語	中：中国語
仏：フランス語	露：ロシア語
独：ドイツ語	韓：韓国語
伊：イタリア語	＊：その他
西：スペイン語	

音声属性

LPCM ／ DD Digital ／ DTS ：信号タイプ
k ：サンプリング周波数
b ：ビット数
ch ：チャンネル数
Vocal ：カラオケディスクのボーカル表示
（**カーソル[▲、▼]**で切り換えることができます。）
<ソロ> ---←→入
<デュエット> ---←→V1 ＋ V2←→V1←→V2
↑___________________________↑

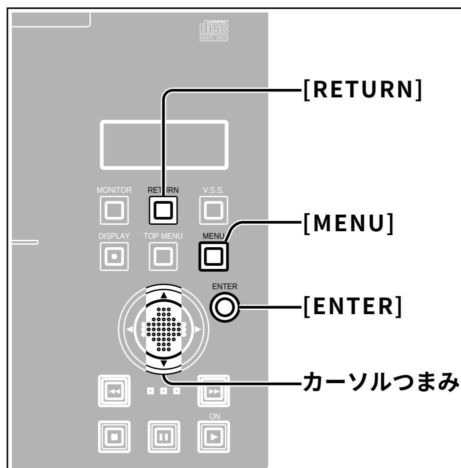
本機の情報画面

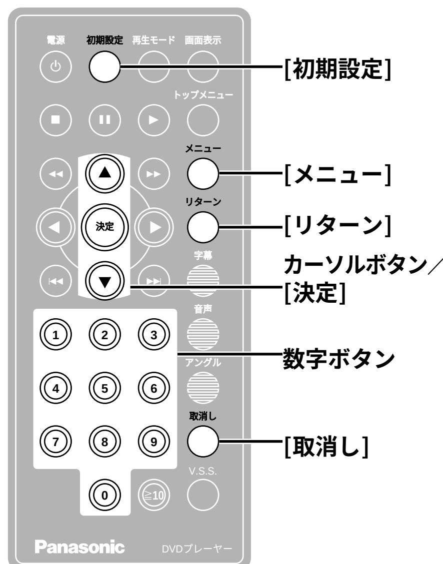
	A-B リピート再生 指定した 2 点間を繰り返し再生 再生中**[ENTER]（決定）**を押すたびに A. ──→ AB ──→ .. （A 点を指定）（B 点を指定）（A-B リピート再生が始まる）（通常の再生に戻る） ● 同一タイトル／トラック内でのみ可能です。 ● B 点を指定する前にタイトル／トラックが終わったときは、その終了点が B 点として指定されます。 ● A-B リピート時は“ A 1 B ”が表示窓に点灯します。
切	**リピート再生** 再生の種類を選ぶと繰り返し再生開始 （DVD） C（チャプター）←──→ T（タイトル）←──→ 切（通常再生） （ビデオ CD ／ CD） T（トラック）←──→ A（ディスク全体）←──→ 切（通常再生） ● チャプター／トラックリピート時は“ 1 1 ”が、タイトル／ディスクリピート時は“ 1 ”が表示窓に点灯します。
---	**再生モード表示**（ビデオ CD ／ CD）内容変更はできません。 RND ：ランダム再生 PRG ：プログラム再生 --- ：通常再生
切	**シネマボイスモード「入」「切」**（ドルビーデジタル／ DTS 3ch 以上の DVD） ●「入」を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がります。
*****	**マーカー** もう一度再生したいところにマークをつける（最大 5 カ所） **[ENTER]（決定）**を押してからマークしたいところでもう一度押す ● 2 回目以降はまず**カーソル[▶]**を操作してください。 ● 電源を切るか、内ぶたを開けるまでマーク番号は保持されています。 **■マークを呼び出す** **[◀、▶]** でマークを選び **[ENTER]（決定）**を押す **■マークを取り消す** **[◀、▶]** でマークを選び **[取消し]**を押す
1	**V.S.S.モード／ V.S.S.レベル**（ドルビーデジタル 2ch 以上の DVD） 選んだモード／レベルで再生 〈V.S.S.モード〉 （V.S.S） （ヘッドホン V.S.S） 〈V.S.S.レベル〉 1（標準）←──→ 2（強） ↳ 切（解除）↲

絵表示を使って操作する

初期設定を変更する

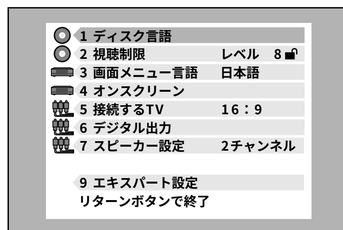
再生時の言語、表示、視聴制限などの設定を変更することができます。
電源を切っても次に変更するまで保持されます。





設定方法

1 停止中
[初期設定]または**[MENU]（メニュー）**を押して
初期設定画面を表示する



2 カーソル[▲、▼]を操作して
項目／内容を選び、
[ENTER]（決定）を押す
必要なだけ繰り返してください。

＜初期設定の種類＞

1 ディスク言語（0 29 ページ）
音声／字幕／ディスクメニューの言語変更

2 視聴制限（0 30 ページ）
視聴制限の設定／変更

3 画面メニュー言語（0 30 ページ）
画面に表示される言語変更

4 オンスクリーン（0 31 ページ）
画面表示の有無、色／位置変更

5 接続する TV（0 35 ページ）
接続するテレビに合わせた設定

6 デジタル出力（0 42 ページ）
接続するデジタル機器に合わせた設定

7 スピーカー設定（0 40 ページ）
接続するスピーカーに合わせた設定

9 エキスパート設定（0 31 ページ）
スチルモードなどの特殊な設定変更

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

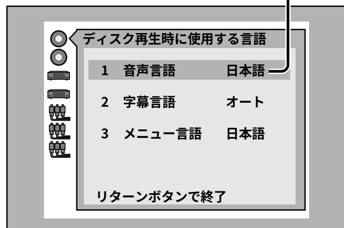
■ 設定を終了するときは

初期設定画面が消えるまで
[RETURN]（リターン）を数回押す

1 ディスク言語　（設定方法 ０ 28ページ）

DVDの再生時に使う各種言語が設定できます。
設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

出荷時の設定



1 音声言語
日本語／英語／オリジナル※1 ／その他＊＊＊＊※3

2 字幕言語
オート※2 ／日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

3 メニュー言語
日本語／英語／その他＊＊＊＊※3

※1 ディスクの最優先言語です。

※2「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

※3 **数字ボタン**でお好みの言語の言語番号（０ 下記）を入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。
間違った数字を入力してしまったときは**[取消し]**を押すと取り消せます。

言語番号一覧表

7383：アイスランド	7578：カンナダ	8484：タタール	7089：フリジア
6588：アイマラ	7577：カンボジア	8465：タミル	6890：ブータン
7165：アイルランド	7589：キルギス	8476：タガログ	6671：ブルガリア
6590：アゼルバイジャン	6976：ギリシャ	8471：タジク	6682：ブルターニュ
6583：アッサム	7585：クルド	6783：チェコ	7387：ヘブライ
6565：アファル	7282：クロアチア	9072：中国語	8673：ベトナム
6570：アフリカーンス	7178：グアラニー	6679：チベット	6669：ベロルシア（白ロシア）
6566：アブハジア	7185：グジャラト	8473：ティグリニア	6678：ベンガル（バングラ）
6577：アムハラ	7576：グリーンランド	8469：テルグ	7065：ペルシャ
6582：アラビア	7565：グルジア	6865：デンマーク	8076：ポーランド
8381：アルバニア	8185：ケチュア	8487：トウイ	8084：ポルトガル
7289：アルメニア	7168：（スコットランド）ゲール	8475：トルクメン	7773：マオリ
7384：イタリア	8872：コーサ	8482：トルコ	7775：マケドニア
7473：イディッシュ	6779：コルシカ	8479：トンガ	7783：マライ（マレー）
7365：インターリングア	8377：サモア	6869：ドイツ	7782：マラッタ
7378：インドネシア	8365：サンスクリット	7865：ナウル	7776：マラヤーラム
6789：ウェールズ	8378：ショナ	7465：日本語	7784：マルタ
8779：ウォロフ	8368：シンド	7869：ネパール	7771：マダガスカル
8679：ヴォラピュック	8373：シンハラ	7879：ノルウェー	7779：モルダビア
8575：ウクライナ	7487：ジャワ	7265：ハウサ	7778：モンゴル
8590；ウズベク	8386：スウェーデン	7285：ハンガリー	8979：ヨルバ
8582：ウルドゥー	8375：スロバキア	6985：バスク	7679：ラオ
6978：英語	8376：スロベニア	6665：バシキール	7665：ラテン
6984：エストニア	8387：スワヒリ	8083：パシュト	7686：ラトビア（レット）
6979：エスペラント	8385：スンダ	8065：パンジャブ	7684：リトアニア
7982：オーリヤ	6983：スペイン	7273：ヒンディー	7678：リンガラ
7876：オランダ	9085：ズールー	6672：ビハール	8279：ルーマニア
7575：カザフ	8382：セルビア	7789：ビルマ	8277：レトロマンス
7583：カシミール	8372：セルボクロアチア	7073：フィンランド	8285：ロシア
6765：カタロニア	8379：ソマリ	7074：フィジー	
7176：ガリチア	8472：タイ	7079：フェロー	
7579：韓国（朝鮮）語		7082：フランス	

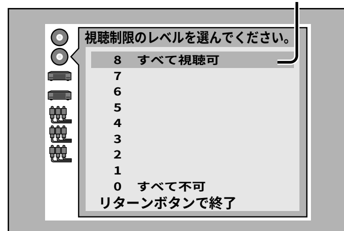
初期設定を変更する

初期設定を変更する

2 視聴制限　（設定方法 0 28 ページ）

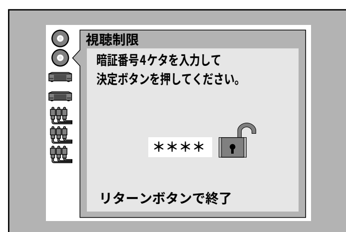
お子様などに見せたくない成人向けの DVD がそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

出荷時の設定





レベル 0 ～ 7 のとき



レベル 8　　：すべての DVD が再生可

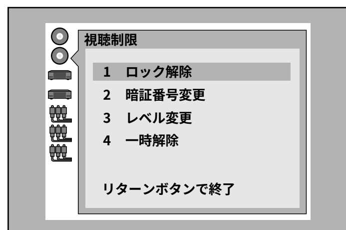
レベル 1 ～ 7　：制限レベルの記録されている DVD（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可

レベル 0　　：すべての DVD が再生不可

- レベル 7 以下を選んだときは**数字ボタン**で暗証番号 4 ケタを入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。（ロックがかかります。）
  間違った数字を入力してしまったときは**[取消し]**を押すと取り消せます。

お願い

- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できなくなりますので、暗証番号は忘れないようにしてください。
- 制限レベルが記録されていない DVD を制限したいときは「0 すべて不可」を選んでください。



■制限内容を変更するには（レベル 0 ～ 7 のとき）

まず**数字ボタン**で暗証番号 4 ケタを入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。

1 ロック解除　：制限を解除してレベル 8 に戻す

2 暗証番号変更：暗証番号を変更する

3 レベル変更　：制限レベルを変更する

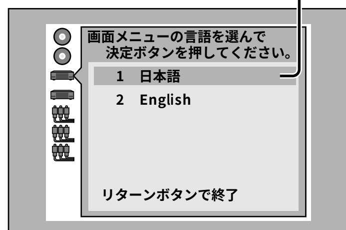
4 一時解除　　：一時的に制限を解除する

- 「4　一時解除」を選ぶと、電源を切るか内ぶたを開けるまでレベル 8 の状態が続きます。

3 画面メニュー言語　（設定方法 0 28 ページ）

「再生」などの画面表示や GUI 画面、初期設定画面の言語を選べます。

出荷時の設定



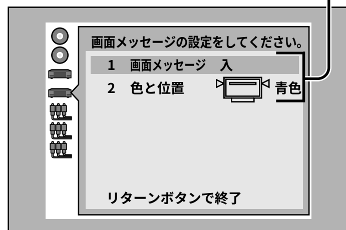
1 日本語

2 English（英語）

4 オンスクリーン　（設定方法 0 28 ページ）

「再生」／「停止」などの画面表示の有無を選べます。（「画面メッセージ」）
また、これらの画面表示や GUI 画面の色／位置が選べます。（「色と位置」）

出荷時の設定



1 画面メッセージ
入／切

2 色と位置

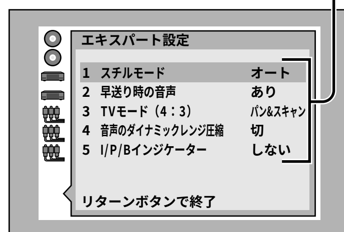
1	青色	4	青色※
2	紫色	5	紫色※
3	緑色	6	緑色※

※表示画面の上端が欠けているときに選んでください。

9 エキスパート設定　（設定方法 0 28 ページ）

以下の特殊な設定ができます。

出荷時の設定



1 スチルモード：（0 下記）
静止時のモードを選ぶ

2 早送り時の音声：（0 32 ページ）
DVD ／ビデオ CD の早送り 1 速時に音声を出すかどうかを選ぶ

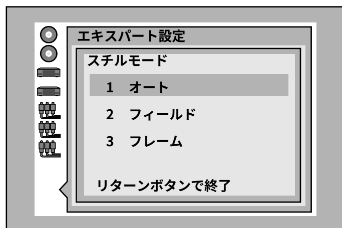
3 TV モード（4 ： 3）：（0 32 ページ）
標準サイズ（4 ： 3）のテレビでワイドソフトを再生するときの画面を選ぶ

4 音声のダイナミックレンジ圧縮：（0 32 ページ）
小さい音と大きい音の音量差を縮める
（ドルビーデジタルで記録された DVD のみ）

5 I ／ P ／ B インジケーター：（0 32 ページ）
静止時に画像の種類を表示するかどうかを選ぶ
（DVD のみ）

お知らせ

- CD の場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時にすべての速度で音が出ます。
- DTS CD の場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時に音が出ません。



<スチルモード>（「フレーム／フィールド」 0 48 ページ）

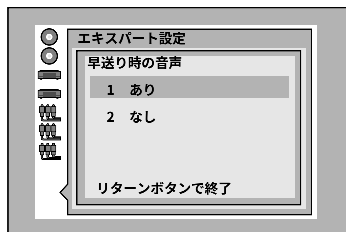
1 オート　：フレームスチルとフィールドスチルを自動的に切り換える

2 フィールド：常にフィールドスチルモードになる
（「オート」設定時に、画像のブレが発生するとき）

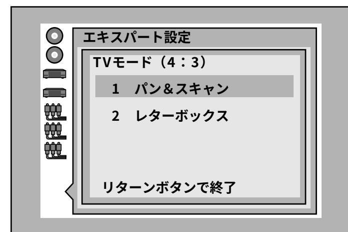
3 フレーム　：常にフレームスチルモードになる
（「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないとき）

（次ページに続く）

初期設定を変更する



＜早送り時の音声＞
1 あり
2 なし（「あり」に設定して耳障りなとき）



＜ TV モード（4 ： 3）＞
1 パン＆スキャン：両側または片側の切れた画面で再生

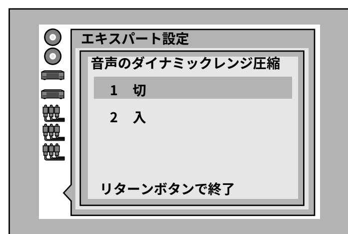


2 レターボックス：上下に黒帯の入った画面で再生

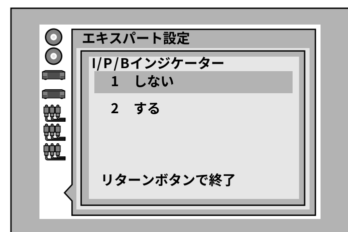


お知らせ

ディスク側であらかじめパン＆スキャンやレターボックスが指定されているときは、その指定が優先されます。

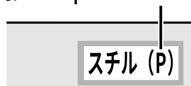


＜音声のダイナミックレンジ圧縮＞
（「ダイナミックレンジ」 0 48 ページ）
1 切
2 入（小音量でも聞き取りやすい音声で映画を楽しみたいときなど）



＜ I ／ P ／ B インジケーター＞
（「I ／ P ／ B」 0 48 ページ）
1 しない
2 する　：静止時に画像の種類を表示

例） P-picture のとき



他の機器と組み合わせる

本機では以下のように、様々な機器と接続し、幅広く楽しむことができます。
接続方法については、各ページをご参照ください。
『』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定の項目です。

こんなときは		こんな方法があります	参照ページ
テレビ画面で映像を楽しむ		テレビと接続する『5 接続するTV』	34
3本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ	アナログ接続	AVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と接続する『7 スピーカー設定』	36
	デジタル接続	AVアンプ（デコーダー内蔵）と接続する『6 デジタル出力』	37
2本のスピーカーでステレオサウンドを楽しむ	アナログ接続	アナログアンプ（ドルビープロロジックアンプを含む）やミニコンポと接続する『7 スピーカー設定』	38
	デジタル接続	デジタルアンプやミニコンポと接続する『6 デジタル出力』	39
		アクティブスピーカーシステムと接続する	44
ヘッドホンで楽しむ		ヘッドホンと接続する	44
MDやカセットテープに録音する		**アナログ録音**する『7 スピーカー設定』	38
		デジタル録音する『6 デジタル出力』	39
液晶画面でテレビ放送やビデオカメラの映像を見る		**テレビチューナーユニットを接続する**	45
		ビデオカメラを接続する	45

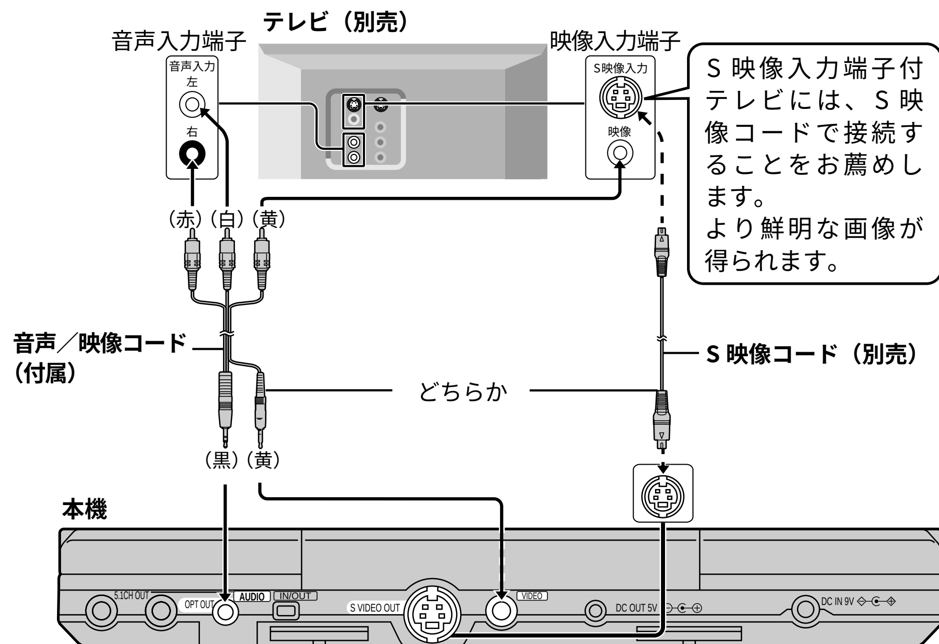
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。
- 別売品の品番については46ページをご参照ください。

お知らせ

液晶画面を閉じると、本機のステレオスピーカーからは音声が出なくなります。
外部スピーカーやテレビを接続しているときは、液晶画面を閉じることをお薦めします。

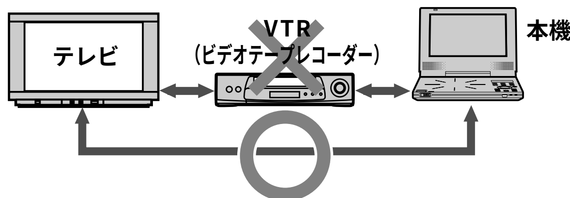
より大きな画面で楽しむ

テレビと接続する



お願い

●本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
VTR（ビデオテープレコーダー）や VTR 内蔵テレビのビデオ側端子を経由して接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。



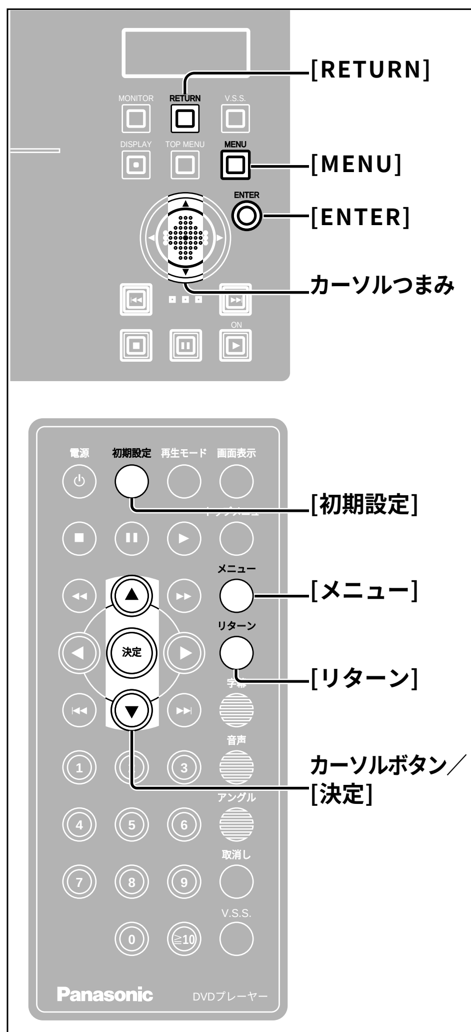
● DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。DVD を再生したときにテレビの音量を上げ、その後テレビ放送に切り換える場合は、必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

テレビに合わせて設定する

ワイドサイズのテレビの場合は必要ありません。

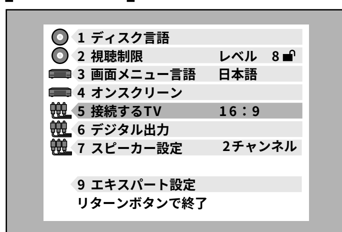
準備

- 本機およびテレビの電源を入れてください。
- テレビの外部入力を切り換えてください。



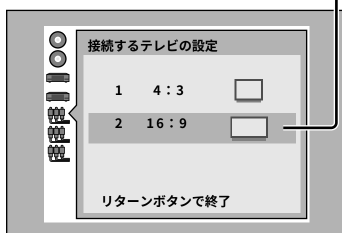
1 停止中
[初期設定]または**[MENU]（メニュー）**を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル[▲、▼]を操作して
「5 接続する TV」を選び
[ENTER]（決定）を押す



3 カーソル[▲、▼]を操作して
テレビの画面サイズ（横：縦）を選び
[ENTER]（決定）を押す

出荷時の設定



- **4:3**：標準サイズのテレビ
- **16:9**：ワイドサイズのテレビ
  または本機の液晶画面

4 **[RETURN]（リターン）**を押して
設定を終了する

お願い

本機の液晶画面を使うときは必ず「16 ： 9」に設定してください。

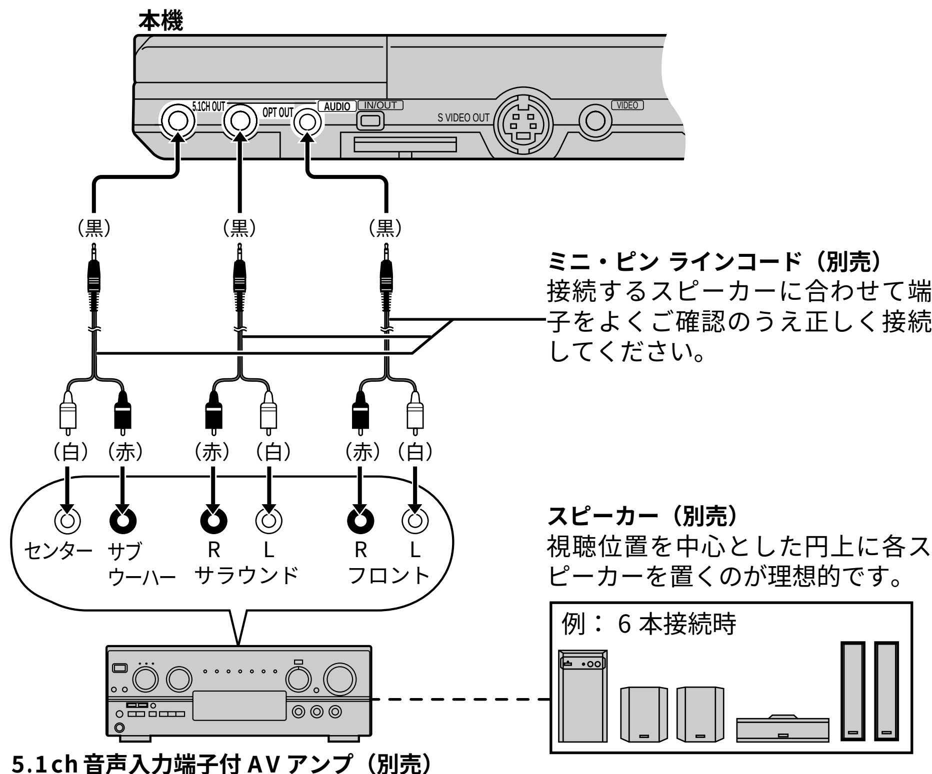
■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

より迫力ある音声で楽しむ

5.1ch 音声入力端子付 AV アンプで楽しむ

1 接続する（アナログ接続）



5.1ch 音声入力端子付 AV アンプ（別売）

● サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをお薦めします。

2 接続したスピーカーに合わせて設定する（０ 40 ページ）

お願い

V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.は"OFF（解除）" にしてください。"1（標準）"、"2（強）"に設定するとフロント（L ／ R）以外のスピーカーから音が出ません。

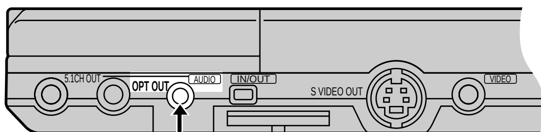
お知らせ

録音については 38 ページをご参照ください。

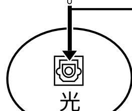
デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー + AV アンプ）で楽しむ

1 接続する（デジタル接続）

本機



光デジタルケーブル（別売）
折り曲げないで接続してください。



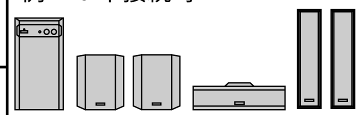
光デジタル入力端子

デコーダー（別売）

AV アンプ（別売）

スピーカー（別売）
視聴位置を中心とした円上に各スピーカーを置くのが理想的です。

例： 6 本接続時



AV アンプ（デコーダー内蔵）（別売）

2 接続したデジタル機器に合わせて設定する（０ 42 ページ）

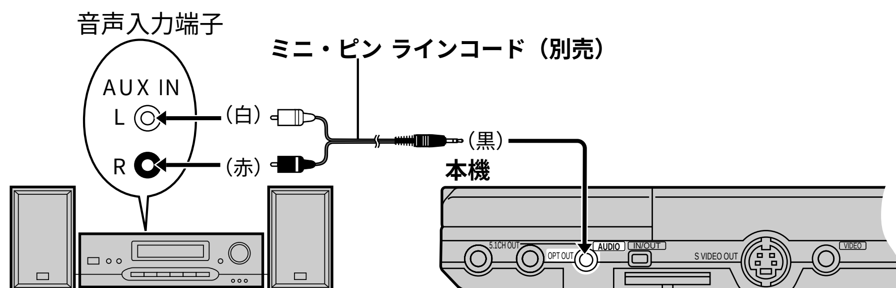
（０ 42 ページ）

お知らせ

- DVD に対応していない DTS デコーダーは使用できません。
- 録音については 39 ページをご参照ください。

2ch アナログアンプやミニコンポで楽しむ

1 接続する（アナログ接続）



2ch アナログアンプ／ミニコンポ（別売）
（ドルビープロロジックアンプ含む）

2 接続したアナログ機器に合わせて設定する（0 40 ページ）

ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには
（「ドルビープロロジック」 0 48 ページ）

上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。
接続した機器の説明書をご参照ください。

- また、この場合 V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.は"OFF（解除）"にしてください。
  "1（標準）"、"2（強）"に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

■録音について

録音機器には AV アンプなどを通して接続することも、直接接続することもできます。直接接続するときの接続方法は 2ch アンプやミニコンポと接続する場合と同様です。

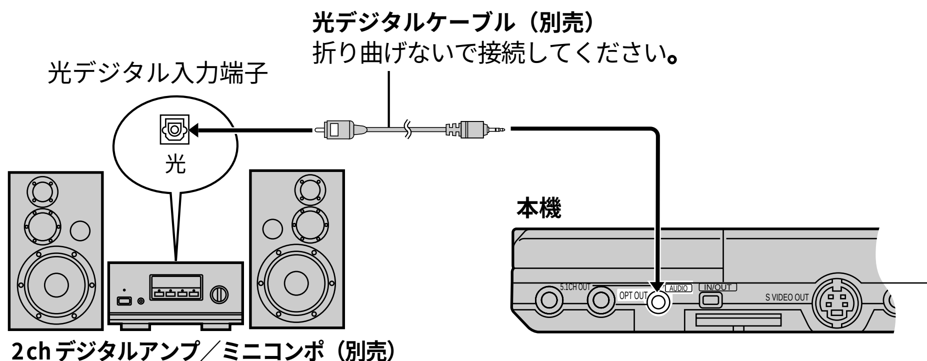
<アナログ録音>

アナログ信号に変換された音声を、コピーガードの影響を受けずにカセットテープや MD に録音することができます。

- ミニ・ピン ラインコードでアナログ接続してください。
- この場合、AV アンプにスピーカーを 3 本以上接続していても、スピーカーの設定を「2 チャンネル」に設定してください。（0 40 ページ）
  「マルチチャンネル」に設定していると、フロント（L ／ R)の成分しか録音されません。

2ch デジタルアンプやミニコンポで楽しむ

1 接続する（デジタル接続）



2 接続したデジタル機器に合わせて設定する（0 42 ページ）

<デジタル録音>

デジタル信号のまま MD などに録音できます。

●光デジタルケーブルでデジタル接続してください。ただし以下の条件が必要です。

1 ディスクに著作権保護の処理がされていない

2 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz/16 bit に対応している

3 デジタル出力が以下のように設定されている（0 42 ページ）

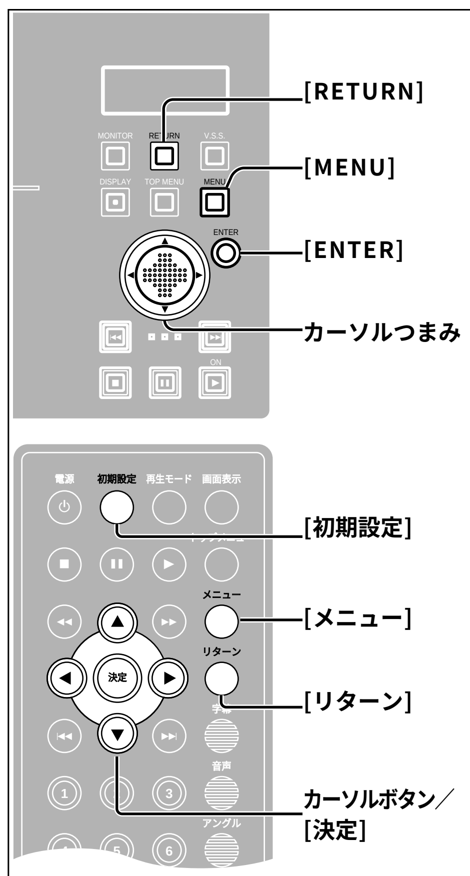
「PCM ダウンサンプリング変換」　：「する」

「Dolby Digital」/「DTS Digital Surround」：「PCM」

スピーカーの設定をする

準備

● 本機および接続した機器の電源を入れてください。



お知らせ

● 光デジタルケーブルでデジタル接続しているときは、接続した機器側で設定してください。

● マルチチャンネルのディスクを再生中は、表示窓に設定状態が表示されます。

マルチチャンネルに設定しているとき



2 チャンネルに設定しているとき

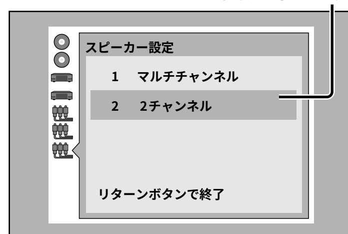
設定方法

1 停止中
[初期設定]または **[MENU]（メニュー）** を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［▲、▼］を操作して
「7 スピーカー設定」を選び
[ENTER]（決定）を押す

3 カーソル［▲、▼］を操作して
項目／内容を選び
[ENTER]（決定）を押す

出荷時の設定



● **マルチチャンネル**
（スピーカーを 3 本以上接続するとき）

● **2 チャンネル**
（スピーカーを 2 本接続するとき／ドルビープロロジックアンプを接続するとき）

● 「2 チャンネル」を選ぶと初期設定画面に戻ります。

4 **<「マルチチャンネル」を選んだ場合>**
41 ページの画面が表示されます。
以下の手順で a b c を設定してください。

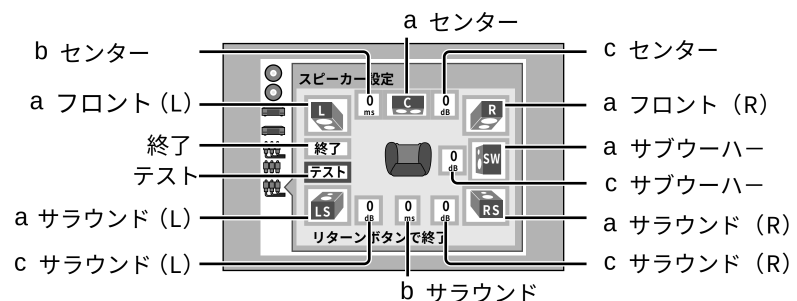
1 **カーソル［▲、▼、◀、▶］**で項目を選び**[ENTER]（決定）**を押す
2 **カーソル［▲、▼］**で内容を変更し、**[ENTER]（決定）**を押す
3 "**終了**"を選び**[ENTER]（決定）**を押す

5 **[RETURN]（リターン）**を押して
設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

「マルチチャンネル」を選んだ場合の設定内容



a スピーカーの有無とサイズ

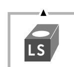
- **フロント（L／R）**：あり（大）／あり（小）
- **センター**：あり（大）／あり（小）／なし
- **サブウーハー**：あり／なし
- **サラウンド（L／R）**：あり（大）／あり（小）／なし

サラウンド（L）の場合の表示例

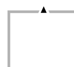
あり（大）



あり（小）

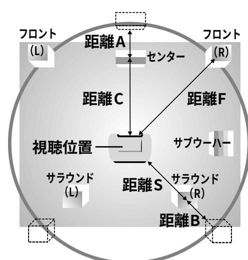


なし



大、小は 100 Hz 以下の低音を再生できる場合（大）かできない場合（小）かを目安にしてください。

b ディレイタイム（ドルビーデジタル DVD のセンター／サラウンドチャンネルのみ）



すべてのスピーカーは左記のような円上に置くのが理想的ですが、置けない場合でもディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

＜センター＞

距離 A ＝距離 F －距離 C

距離 A	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

＜サラウンド＞

距離 B ＝距離 F －距離 S

距離 B	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

c 出力バランス

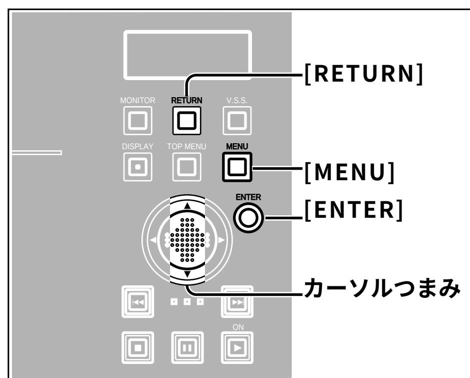
1 "**テスト**"を選び**[ENTER]（決定）**を押す
　「ザー」というテスト音がフロントスピーカー（L）から時計周りに出力されます。
　フロントと同じ音量で聞こえるように各スピーカーの音量を**カーソル[▲、▼]**で調節してください。
2 **[ENTER]（決定）**を押す（音が止まります。）

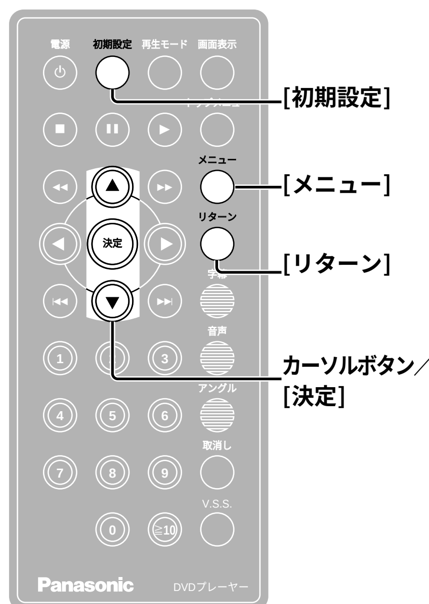
- サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

デジタル出力の設定をする

準備

本機および接続した機器の電源を入れてください。





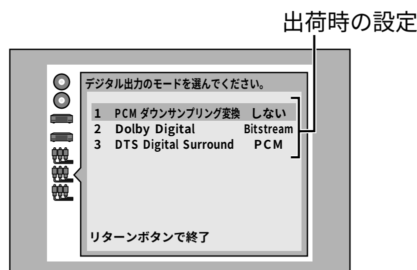
設定方法

1 停止中
[初期設定]または **[MENU]（メニュー）**を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル[▲、▼]を操作して
「6 デジタル出力」を選び
[ENTER]（決定）を押す

3 カーソル[▲、▼]を操作して
項目／内容を選び
[ENTER]（決定）を押す

出荷時の設定



- **PCM ダウンサンプリング変換**：
  リニア PCM 96 kHz で記録された DVD 再生時の出力
- **Dolby Digital**：
  ドルビーデジタルで記録された DVD 再生時の出力
- **DTS Digital Surround**：
  DTS で記録された DVD 再生時の出力

4 [RETURN]（リターン）を押して
設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]（リターン）を押す

設定内容

■ PCM ダウンサンプリング変換

- **しない**（ミニ・ピン ラインコードでアナログ接続するとき）
- **する**　（光デジタルケーブルでデジタル接続するとき）
  著作権保護のため、出力は 48 kHz ／ 16 bit 以下に制限されます。

＜ 96 kHz で記録された DVD を再生するときは＞
接続方法と設定値によって以下のような音声が出力されます。

接続方法／設定値	アナログ接続	デジタル接続
しない	96 kHz で出力	出力しない（著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力※）
する	48 kHz ／ 16 bit に変換され出力	48 kHz ／ 16 bit に変換され出力

※ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応していることが必要です。

■ Dolby Digital

- **Bitstream**（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵する機器と接続するとき）
- **PCM**　　　（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）

■ DTS Digital Surround

- **PCM**　　　（DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）
- **Bitstream**（DTS デコーダーを内蔵する機器と接続するとき）

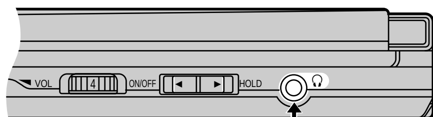
お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、「Dolby Digital」と「DTS Digital Surround」は必ず「PCM」に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD に正しく録音できません。

その他の楽しみかた

アクティブスピーカーシステムで楽しむ

本機



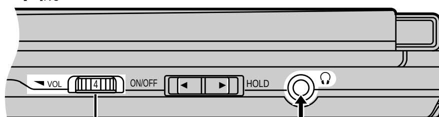


アクティブスピーカーシステム（別売）

ヘッドホンで楽しむ

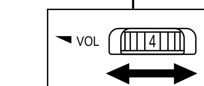
いったん音量を下げて、接続してから音量を調節してください。

本機



ヘッドホン（別売）





[VOL]（ボリューム）ダイヤル

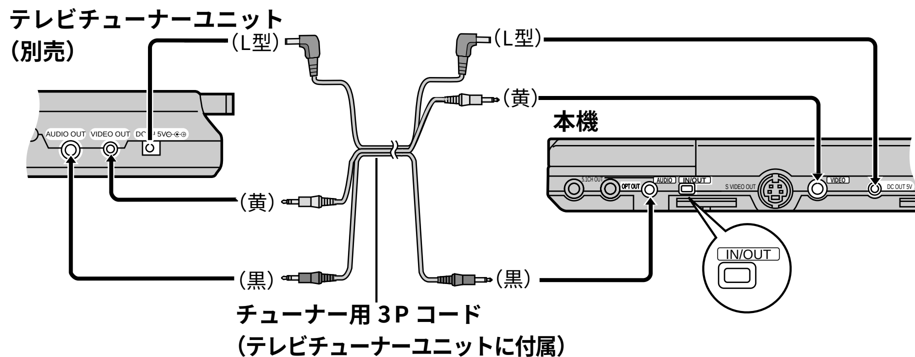
ステレオミニジャック（M3）のものをご使用ください。

お知らせ

アクティブスピーカーやヘッドホンを接続したときは、本機のステレオスピーカーからは音が出ません。

テレビチューナー（別売）でテレビ放送を楽しむ　品番：DY- DT50

1 接続する

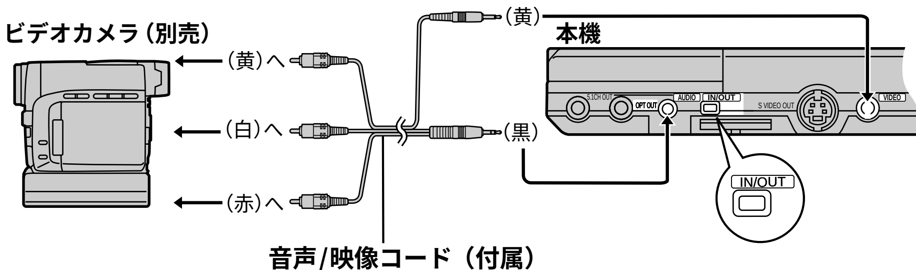


2 [IN/OUT]を押して**外部入力モードに切り換える**

表示窓の"LINE-IN"が点灯します。

ビデオカメラで撮った映像を楽しむ

1 接続する



2 [IN/OUT]を押して**外部入力モードに切り換える**

表示窓の"LINE-IN"が点灯します。

お知らせ

- 電源を切ると外部入力モードは解除されます。続けてテレビ放送やビデオの映像を楽しむときは、必ずもう一度**[IN/OUT]**を押して表示窓の"LINE-IN"を点灯させてください。
- 外部入力モードのときにはオートパワーオフ（０９ページ）は働きません。続けて再生しないときは必ず電源を切っておいてください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。
「DTS」および「DTS ディジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992 − 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

S 映像コード	RP-CVS0G10 (1.0 m)
	RP-CVS0G20 (2.0 m)
	RP-CVS0G30 (3.0 m)
	RP-CVS0G50 (5.0 m)
AV アンプ (AV コントロールアンプ)	SA-DX930※
フロントスピーカー (L／R)	SB-LV500 (左右 1 組)
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー (L／R)	SB-S500 (左右 1 組)
アクティブサブウーハー	SB-AS30
ミニ・ピン ラインコード	RP-CAPM3G15 (1.5 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2105A (0.5 m)
	RP-CA2110A (1.0 m)
	RP-CA2120A (2.0 m)
ステレオヘッドホン	RP-HC100
	RP-HT870
	RP-HS70
ステレオインサイドホン	RP-HV375
アクティブスピーカーシステム	RP-SP90
テレビチューナーユニット	DY-DT50
バッテリーパック	DY-DB75

※ 5.1ch 音声入力端子とドルビーデジタル／DTS デコーダーを装備しています。

使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

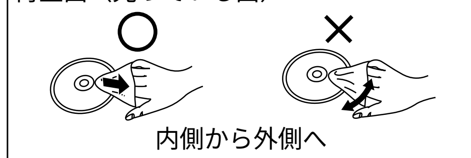
■持ち方



再生面には手を触れない

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



内側から外側へ

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない



ディスクの保管

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光や暖房器具の熱が直接当たる場所

故障防止のために

以下のことは避けてください。

- 強い衝撃、落下や雨にぬらす
- 揮発性の殺虫剤などをかける
- 液晶画面を強い力で押す
- 内ぶた内部のレンズなど光ピックアップ部に触れる

以下のような場所で使用しないでください。

- 風呂場など湿気の多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 浜辺など砂の多いところ
- アンプなど高温になる機器の上や、座布団やソファーの上

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをお薦めします。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

良い音でお楽しみいただくために

別売りのCDレンズクリーナーで定期的にお手入れすることをお薦めします。

推奨品：品番 RP-CL510

用語解説

トラック
ビデオCD／CDのディスクを分ける、いくつかの小さな区切りのことです。

タイトル／チャプター
DVDのディスクを分ける、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）のことです。

プレイバックコントロール
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。

ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS（Digital Theater Systems）
（デジタル　シアター　システム）
世界中の多くの映画館で採用されている5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

リニアPCM音声（LPCM）
圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。CDは、44.1 kHz／16 bitで記録されているのに対し、DVDは48 kHz／16 bit～96 kHz／24 bitで記録されていますので、CDよりも高音質の再生が可能です。
本機では、リニアPCM音声は常に2chで出力されます。

Bitstream（ビットストリーム）
デジタルに置き換えられ、圧縮された音声信号です。デコーダーによって、5.1chなどの独立したチャンネルの音声データにデコード（復号）されます。

ドルビープロロジック
4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、再び4チャンネルの独立した信号に戻して再生するサラウンドシステムです。
サラウンド信号はモノラルで、7 kHzまで再生されます。

ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

フレーム／フィールド
フレームとは、動画の1コマ1コマのことで、テレビの場合は、1秒間に30コマの画像が映し出されています。1フレームはさらにフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

I／P／B
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録するという方法をとっています。このとき共用データの基準画面として単独で記録されるフレームが**I-picture**、過去のI-pictureを元につくられるフレームが**P-picture**、I／P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレームが**B-picture**です。
画質がもっとも良いのはI-pictureです。画質調整をするときは、I-pictureで静止することをお薦めします。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
使い方	5.1ch サラウンド音声を楽しむには、どのような機器が必要か	AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーをご用意ください。本機にはドルビーデジタル／DTS デコーダーが内蔵されていますので、デコーダーを接続しなくても 5.1ch サラウンド音声が楽しめます。	36
使い方	海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。	8
使い方	海外で買った DVD を再生できるか	リージョン番号が本機のものと一致しない DVD は再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
使い方		本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式の DVD は再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
使い方	機内で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。航空会社の指示に従ってください。	**
使い方	車内で使えるか	車のシガレットライターソケットからは電源をとらないでください。故障するおそれがあります。 また運転中は使用しないでください。	4
使い方	病院で使えるか	本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。	**
使い方	DVD-L50、DVD-L10 用のバッテリーパックは使えるか	ご使用いただけません。本機専用のバッテリーパック（品番：DY-DB75）をお使いください。	**
接続	パソコンと接続できるか	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでディスクの再生をお楽しみいただけます。 ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。	**

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
電源について	電源が入らない	電源に正しく接続されていますか？	8
		ホールド状態になっていませんか？	10
		バッテリーの残量を確認してください。	9
		バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることができません。	9
	勝手に電源が切れる	停止状態で放置するとACアダプター使用時は約15分で、バッテリーパック使用時は約5分で電源が切れます。(**オートパワーオフ**)電源を入れ直してください。	9
バッテリーパックについて	充電できない([CHG]ランプが点灯しない)	電源が入っていませんか？	8
		温かくなっているバッテリーパックは、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。バッテリーパックが冷えてから充電してください。	**
		接続を確認してください。	8
	バッテリーパックで使用できない	高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。常温下で使用してください。	**
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	7、11
		ホールド状態になっていませんか？	10
		本機の電源を一度「切」「入」してみてください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。)	**
	[▶] を押しても、再生が始まらない(またはすぐに停止する)	寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生する場合があります。1～2時間放置してください。	**
		DVD／ビデオCD／CD以外のディスクは再生できません。	6
		ディスクが汚れていませんか？	47
		ディスクを正しくセットしてください。	10
		初期設定「2 視聴制限」の設定を確認してください。	30

こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
操作について		
リモコンで操作できない	電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。	7
	電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
	リモコン受信部に正しく向けて操作してください。	7
カラオケソフトの再生中、1 曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るように制作されています。 メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選ぶと全曲が再生されます。	**
音声／字幕言語が切り換えられない	一つしか言語が記録されていない DVD は切り換えできません。	**
	音声／字幕切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	21
字幕が出ない	字幕の入っていない DVD は字幕が表示されません。	**
	字幕が「切」になっていませんか？	21
	A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	**
アングルを切り換えられない	複数のアングルが記録されていない DVD は、アングルを切り換えることができません。また、複数のアングルが特定の場面のみ記録されているディスクもあります。	**
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を工場出荷時に戻したい	以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の[❚❚]と[⏮]（戻し方向）を押しながら、[▶、ON]を 3 秒以上押し続ける。（画面の"オールクリア"が消えたことを確認し、電源を一度切ってください。）	**
音声について		
雑音が聞こえる	本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。	**
本機のスピーカーから音が出ない	液晶画面を閉じていませんか？	33
	[VOL]（音量）ダイヤルが「0（無音）」になっていませんか？	11
	アクティブスピーカーやヘッドホンをつないでいませんか？	44
外部スピーカーから音が出ない	接続、設定を確認してください。	36-43
	接続した機器の入力切換は正しいですか？	**

故障かな!?

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
音声について	音声の一部が聞こえない	接続したスピーカーに合わせて正しく設定していますか？	40
		アナログ接続で3本以上のスピーカーをつないでいるときは、V.S.S.／ヘッドホンV.S.S.を「OFF（解除）」にしてください。	36
映像について	液晶画面が暗い	明るさを調整してください。	17
	早送り／早戻しをしたら、画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	**
	液晶画面に映像が映らない（外部機器から取り込んだ映像を含む）	接続を確認してください。	45
		外部入力切換は正しいですか？ 表示窓の"LINE-IN"の点灯状態を確認してください。 ● ディスクを再生する場合：消灯 ● 外部機器から取り込んだ映像を映す場合：点灯	45
		表示モードが"4（オフ）"になっていませんか？	17
		接続先の機器の電源は入っていますか？	**
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	34
		テレビの電源は入っていますか？	**
		テレビの入力切換は正しいですか？	**
		初期設定「5 接続するTV」の項目は、正しく設定されていますか？	35
表示について	画面メッセージが出ない	初期設定「4 オンスクリーン」の「1 画面メッセージ」を「入」にしてください。	31
	GUI画面が欠ける（または表示されない）	初期設定「4 オンスクリーン」の「2 色と位置」でGUI画面の位置を変更してください。	31
	表示窓に"U11"と表示する	ディスクがよごれています。	47
	表示窓に"H □□"と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。 （"H"以降の数字は、本機の状態によって変わります。） 電源を一度、「切」「入」してください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	**

■処置をされても"U11"、"H □□"と表示するときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」（58－59ページ）に修理をご依頼ください。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。（例 "H01"）

表示について			
	表示窓に"NO PLAY"と表示する	再生できないディスクが入っています。	6
	表示窓に“bAT Err□”と表示する(□□は数字)	"**bAT Err1**"：バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	**
		"**bAT Err2**"：12 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。 再度充電してください。	**
		"**bAT Err3**"：充電中にバッテリーパックが異常加熱しています。冷えてから、再度充電してください。	**

[⏻]ランプ・[CHG]ランプが点滅したら

[⏻]ランプ	1秒 ・・・・・・・・ ●電源が入った状態で、液晶画面が閉まっているか表示モードが"4（オフ）"になっています。再生しないときは電源を切ってください。	**ゆっくり点滅**
	1秒 ・・・・ ●ホールド状態になっていませんか？解除してください。 ●表示窓に"LINE-IN"が点灯していませんか？ **[IN/OUT]**を押して消灯させてください。	**操作ボタンを押すと点滅**
[CHG]ランプ	1秒 ・・・ ●電池残量が少なくなっています。(数分 ～ 10 分前後すると、電源が切れます。)	**ゆっくり点滅**
	1秒 ・・・・ ●バッテリーパックに異常が発生しました。表示窓の表示をご確認ください。 (0 上記)	**点滅**

：点灯状態を表す。

お知らせ

以下の現象が起こることがありますが、異常ではありません。

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。
- 少数の画素が黒や特定の色に光る。（液晶部品の性格によるものです。）

初期設定一覧表

再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
詳しくは、各ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容				参照ページ
1 ディスク言語	音声言語			●日本語　●英語　●オリジナル　●その他	29
	字幕言語			●オート　●日本語　●英語　●その他	
	メニュー言語			●日本語　●英語　●その他	
2 視聴制限	8 すべて視聴可				30
	0 すべて不可～7			●ロック解除　●暗証番号変更　●レベル変更　● 一時解除	
3 画面メニュー言語	日本語				30
	English				
4 オンスクリーン	画面メッセージ			●入　●切	31
	色と位置			●青色　●紫色　●緑色　●青色（少し下）●紫色（少し下）●緑色（少し下）	
5 接続するTV	4：3				35
	16：9				
6 デジタル出力	PCM ダウンサンプリング変換			●しない　●する	42
	Dolby Digital			●Bitstream　●PCM	
	DTS Digital Surround			●PCM　●Bitstream	
7 スピーカー設定	マルチチャンネル	スピーカーの有無とサイズ	フロント（L／R）	●あり（大）　●あり（小）	40
			センター	●あり（大）　●あり（小）　●なし	
			サブウーハー	●あり　●なし	
			サラウンド（L／R）	●あり（大）　●あり（小）　●なし	
		ディレイタイム	センター	● 0　●1.3　● 2.6　● 3.9　● 5.3 ms	
			サラウンド（L／R）	● 0　●5.3　● 10.6 ●15.9 ms	
		出力バランス	センター	●－３～0～＋３ dB	
			サブウーハー		
			サラウンド(L)		
			サラウンド(R)		
	2 チャンネル				
9 エキスパート設定	スチルモード			●オート　●フィールド　●フレーム	31
	早送り時の音声			●あり　●なし	
	TV モード（4：3）			●パン&スキャン　●レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮			●切　●入	
	I／P／B インジケーター			●しない　●する	

主な仕様

電源	DC 9 V（AC アダプター端子）／DC 7.2 V（専用バッテリー端子）
消費電力	13 W（本体 10 W） （本体またはリモコンで電源「切」時約 1.3 W）（付属の専用 AC アダプター使用時）
AC アダプター	電源：　100 − 240 V、50 ／ 60 Hz 消費電力：　41 〜 52 VA DC 出力：　9 V、2 A

外形寸法	幅 185 ×奥行 140 ×高さ 25.1 ㎜ （液晶収納時、突起物を含まず）
質量	619 g
許容周囲温度	＋ 5 〜 35 ℃
許容相対湿度	5 〜 90 % RH （結露なきこと）
信号方式	NTSC
対応ディスク	⑴ DVD-VIDEO ディスク 12 ㎝片面 1 層 12 ㎝片面 2 層 12 ㎝両面（各面 1 層） 8 ㎝片面 1 層 8 ㎝片面 2 層 8 ㎝両面（各面 1 層） ⑵ コンパクトディスク （CD-DA、VIDEO CD） 12 ㎝ディスク 8 ㎝ディスク
液晶画面	7 型α − Si TFT ワイド液晶モニター
S 映像出力	Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル： 0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子： S 端子（1 系統）
映像出力／入力	出力／入力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
	出力／入力端子： ミニジャック （1 系統　出入力切換式）

音声出力／入力	出力／入力レベル： 1.5 Vrms（1 kHz、0 dB）
	出力／入力端子： 2ch（5.1ch ミックス）出力及び 5.1ch 出力フロント L ／ R 兼用： ステレオミニジャック （1 系統　出入力切換式）
	出力端子： 5.1ch 出力サラウンド L ／ R: ステレオミニジャック（1 系統） 5.1ch 出力センター／サブウーハー: ステレオミニジャック（1 系統）
音声出力特性	（1）周波数特性 ● DVD（リニア音声） 2 Hz 〜 22 kHz （48 kHz サンプリング） 2 Hz 〜 44 kHz （96 kHz サンプリング） ● CD 2 Hz 〜 20 kHz （2）S ／ N 比 ● CD 115 dB （3）ダイナミックレンジ ● CD 97 dB
デジタル音声出力	出力端子： 光デジタル出力： ミニ光コネクター （音声出力／入力と兼用）
電源出力端子	専用テレビチューナーユニット用（DC 5 V）

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

各部の名前

本体

7 型ワイド液晶画面

ステレオスピーカー

液晶画面ロック
解除つまみ（11）

［PUSH OPEN］（内ぶた開閉）
ボタン（11）

リモコン受信部（7）

［CHG］（充電）ランプ（8）

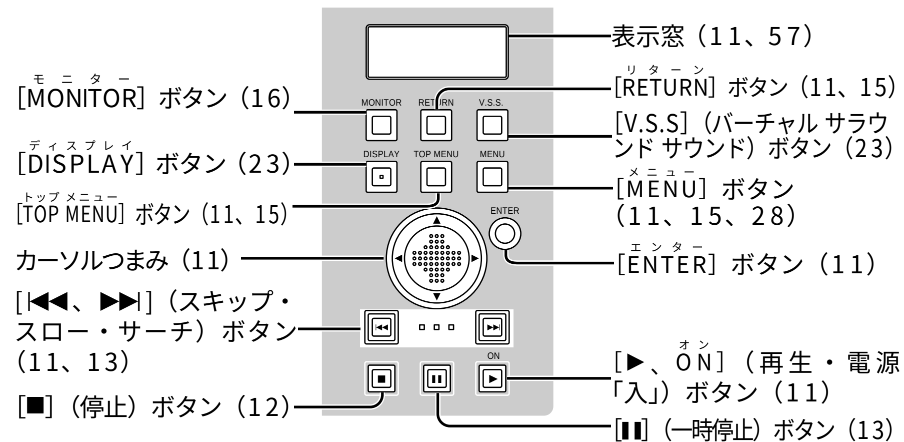
［⏻］（スタンバイ）ランプ（8）

［🎧］ヘッドホン端子（44）

［ON/OFF、HOLD］（電源「入」「切」／ホールド）つまみ（9、10）

［VOL］（ボリューム）ダイヤル（11）

操作部



リモコン

[初期設定]ボタン（28）

[⏻、電源]ボタン（9）

[❚❚]（一時停止）ボタン（13）

[■]（停止）ボタン（12）

[◀◀、▶▶]（スロー・サーチ）ボタン（13）

カーソルボタン・[決定]ボタン（11）

[|◀◀、▶▶|]（スキップ）ボタン（11、13）

数字ボタン（11）

[再生モード]ボタン（18）

[画面表示]ボタン（23）

[▶]（再生）ボタン（11）

[トップメニュー]ボタン（11、15）

[メニュー]ボタン（11、15、28）

[リターン]ボタン（11、15）

[字幕]ボタン（21）

[音声]ボタン（20、22）

[アングル]ボタン（21）

[取消し]ボタン（19、29）

[V.S.S.]（バーチャル サラウンド サウンド）ボタン（23）

電源　初期設定　再生モード　画面表示

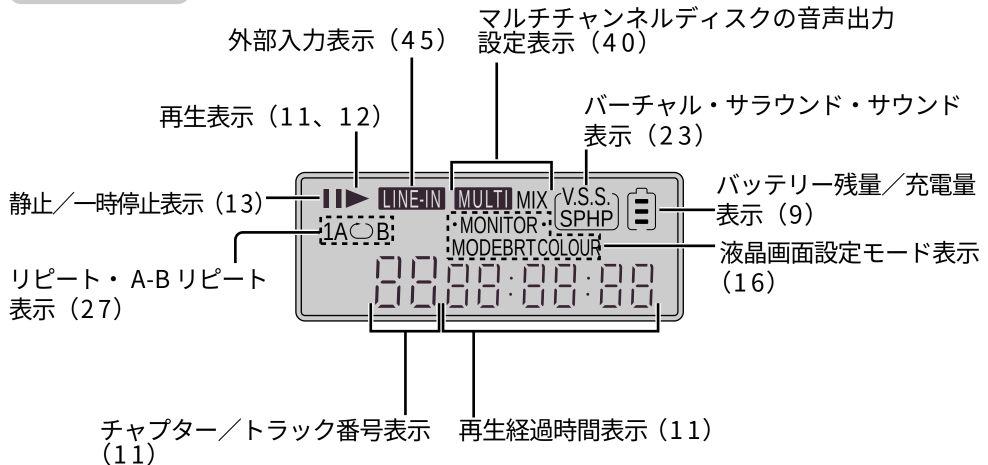
トップメニュー　メニュー　リターン　字幕　音声　アングル　取消し　V.S.S.

決定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

Panasonic　DVDプレーヤー

表示窓



各部の名前

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき

50 ～ 53 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ポータブル DVD/ビデオCD/ＣＤプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は



フリーダイヤル(料金無料)
0120-878-365 (パナは 365日)

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444
Osaka (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は



ナビダイヤル(全国共通番号)
☎ 0570-087-087 (パナ パナ)

- お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (0177)39-9712	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	山形	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	福島	福島県安達郡本宮町字南ﾉ内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字 鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0100

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検	長年ご使用のポータブル DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーの点検を！		
	こんな症状はありませんか	●煙が出たり、異常なにおいや音がする ●映像や音声が出ないことがある ●正常に動作しないことがある ●商品に破損した部分がある ●その他の異常や故障がある	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-LV75
販売店名	☎（　　）　ー		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　ー		

松下電器産業株式会社　光ディスク事業部

〒571ー8504 大阪府門真市松生町１番15号

Printed in Japan　F0200CK0　VQT8639

Panasonic　ポータブルDVD/ビデオCD/CDプレーヤー　DVD-LV75　取扱説明書